

# 北海道大学 経済学部 のすべて

*School of Economics  
and Business*



contents

## 経済学部で何が学べるか

### 経済の切り口は多様だ……4

経済学はSFを超えたか？

グローバル化時代における女性の就業率  
マンガビジネス

### ゼミとは何か？……7

経済学の思考パターンに議論をのせる  
地域社会に深く入り込み、途上国の抱える課題にアプローチ  
北海道発！世界に広がるフットワーク  
会計の“今”に個性と情熱で挑む  
共創の空間 君のしゃべりがゼミをつくる

### 個性的な教授陣……12

#### とってもグローバル……17

グローバルな視点から企業行動を分析する  
一歩外に踏み出してみること  
世界で活躍する人になるために

#### 研究のフロンティア……21

経済思想で政策ビジョンを争う  
経験から学ぶメカニズムを探る  
リスクの会計認識に挑む  
ゲーム理論とテレビゲーム  
サバイバルアナリシスで時間を分析する

#### 入試……25

#### カリキュラム……26

#### 進路・就職……27

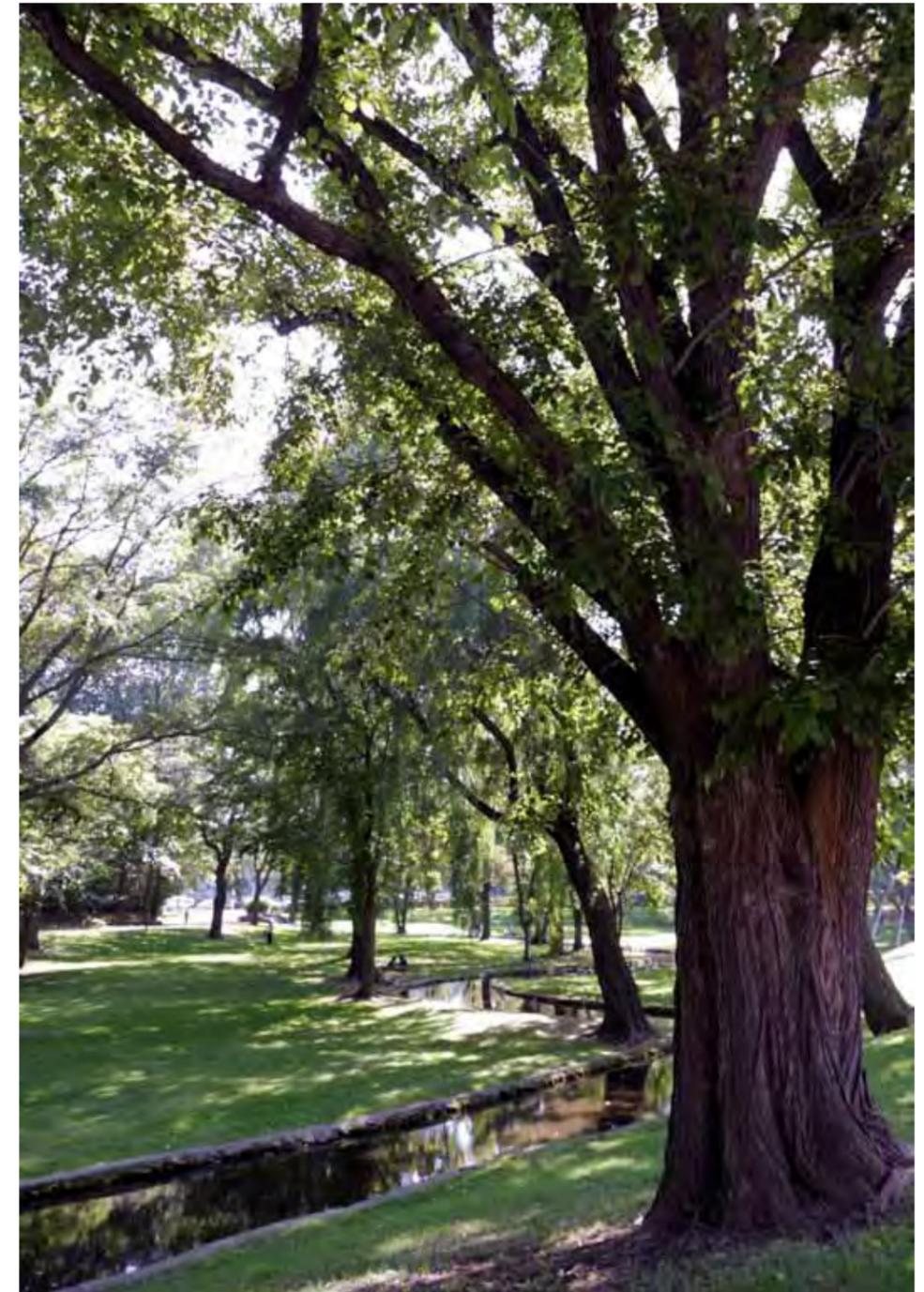
#### 卒業生……29

#### 大学院……31

#### キャンパスライフ……33



自分がやりたいこと、本当に見つけられましたか？  
この広く美しいキャンパスの中で、  
もう一度自分を見つめ直してみませんか？  
北大経済学部は、あなたに、考える場、時、仲間を提供します。



携帯電話ともやしー ●寺下英樹

宗教は出生率に影響を与えるのか？

ーインド第3次全国家族健康調査を用いた実証分析ー ●中館康太

スポーツ用品店における

最適なスタッフフススケジューリングー ●小野寺風

模倣と補完関係の構築による優位性の獲得

ーセブン銀行の事例分析ー ●西尾直幸

鉄骨渡りゲームにおける  
部分ゲーム完全均衡ー ●森恒太

リバタリアニズムの道徳論

ーノージックの最小国家論とカント倫理学ー ●小田遼

江戸幕府俵物独占集荷機構の崩壊要因ー ●富名腰拓

トロピカルフルーツと日本人ー熱帯果樹の経済学ー ●稲村拓哉

映画空間論

ー北海道における映画館の再編と地域社会の再生ー ●元木桃子

(特選論文から)

# 経済学部で 何が学べるか

ここにあげたのは、

先輩たちが見つけた研究テーマのほんの一部です。

経済学部では、生活に密着した身近なことから、

地球規模で起こっている現象まで、

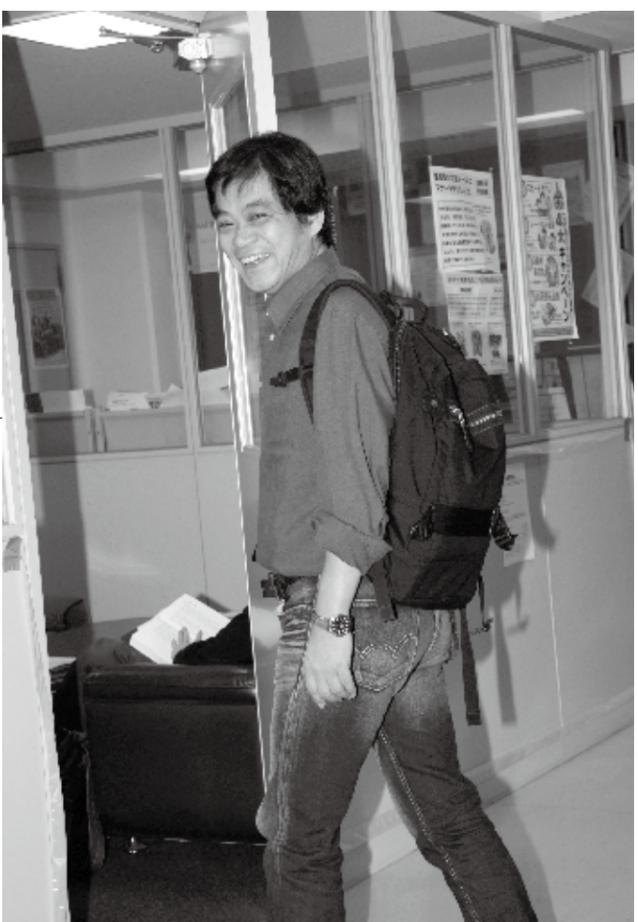
ほとんどすべてが研究の対象となります。

ナビゲータである教授陣の

ユニークで多様な研究の一端をご紹介します。

## SF 経済学は を超えたか？

高校生の時、SF小説が好きで、  
アイザック・アシモフの『銀河帝国の興亡』(早川書房全3巻)。  
という小説に夢中になりました。  
(知らない方は、映画『スター・ウォーズ』を思い描いてください)。  
この小説に登場するハリ・セルダンという天才数学者は、  
心理歴史学という学問(もちろん架空の学問ですが)を創始して、  
それを駆使することで、銀河帝国の崩壊と、  
その後数万年も続く混沌と無秩序な暗黒時代の到来を予測しました。ヽ



### 板谷淳一 教授

●公共経済学  
プロフィール 1978年3月北海道大学経済学部卒業  
北海道大学大学院経済学研究科博士課程を単位取得退  
学、ロチェスター大学大学院経済学研究科でPhDを取  
得。1986年小樽商科大学商学部講師、教授を経て、  
1998年北海道大学経済学部教授。2000年より現職。



経済の  
切り口は  
多様だ

セルダンはさらに、この暗黒時代の期間を短くするために  
ファウンデーションという組織を設立しました。この小説は、  
年代別にこの組織とそれに属する人々の活躍を描いた壮大  
な物語になっています。小説に登場する心理歴史学という空  
想上の学問では、数理的な手法を駆使して歴史を分析するの  
ですが、歴史という一見典型的な暗記科目が数学と結びつく、  
という斬新なアイデアにわくわくしたことを覚えています。

経済学はセルダンの心理歴史学に大変よく似ています。銀  
河帝国の代わりに世界経済を「暗黒時代」から救うという意  
味で目的は同じです。数学を駆使して世の中を分析する  
点も同じです。経済学は、心理歴史学と違って何万年も先の  
未来は予測できませんが、一二年先ぐらいであれば、ある程  
度正確に予測できるようになっています。セルダンの心理歴  
史学とは、物理学の気体分子運動論をヒントに、人間は気体  
分子のようにランダムに行動するが、膨大な個人から構成さ  
れる集団の平均的な動きはカオス的ではなく、予測可能であ  
るというアイデアに基づいています。実は、経済学でも、技術

革新や流行の変化を確率的にとらえ、景気変動の平均的  
な動きを予測する、という考え方が古くからあります。  
しかも、現実の経済学は、セルダンの心理歴史学を超える  
理論をいくつか持っています。その一つは、(現在の)天才数  
学者フォン・ノイマンやナッシュによって創始されたゲーム  
理論です。ゲーム理論は、利害が対立する状況下での経済行  
動(たとえば、自動車、パソコン、携帯電話のメーカー間の熾  
烈なシェア獲得競争など)を分析することができ、経済学  
のみならず、政治学、心理学、社会学でも盛んに用いられてい  
ます。私自身も、ゲーム理論を使って公共経済学という学問  
を研究することで、セルダンのように世界を救いたいと考え  
ています。

経済学の知の最前線では、SF小説では空想として扱うよ  
うな手法が実際に経済現象解明のために応用されています。  
小説や映画以上の知的興奮があなたを待っています。さあ、  
私たちと共に未来のセルダンとなって、世界経済を救ってみ  
ませんか。

# 多切り済の口は 3

大学院へ入学して研究テーマを決める時に、指導教官が三つのヒントをくれました。①今後、重要になっていくテーマであること。②誰も手をつけていない未開拓のテーマであること。③自分が興味をもち続けていけること。これらのヒントをもとに決まったのは、国内外の「ドラえもん」ビジネスの研究。さあ、これから研究のスタートです。

誰も手をつけていない研究には、問題が待ち受けていました。文献がありません。そこで、マニア向けの一般書や雑誌を集めて、マンガビジネスの輪郭を探りました。そのおかげで私の研究室には、オタクに負けないくらい、マンガ関連の本があります。

次は調査です。先行研究がありませんから、現場のお話を聞きに行くことから始めなければなりません。コミック雑誌の編集部やアニメプロダクション、映画会社、玩具メーカーなど、マンガに関わる企業の方々にインタビューをしました。研究で一番楽しいのは、インタビュー調査です。元来、人と話すことが好きですし、クリエイティブな世界で働く人々のお話には、ワクワクさせられます。時には、有名なマンガ家の先生にお会いできたり、テレビ局でアニメのセル画をいただくという役得もありました。

いよいよ調査結果を論文にまとめる段階です。未開拓分野の研究は、道路標識のない道を歩くようなものです。勘を頼りに進んでみて、間違った道だと気づいたら、もう一度違うルートを探さなければなりません。こんなことを繰り返しながら、研究を進めてきました。「マンガの研究って楽しいよね」といって、多くの人はそう言いますが、身近な現象だからといって、それを解明することが容易だとは限りません。確かに、ある程度知っていることだから、入りやすいテーマではありますが、実際に研究してみると、既存の経営学の理論では説明できないことがたくさんあります。マンガビジネスって本当に奥深いものです。

現在は、視野を少し広げて、エンターテインメントビジネスというテーマで研究をしています。もちろん、今後もマンガビジネスの研究は続けていきますが、今は芸能プロダクションの調査をしています。そのうち「ジャニーズ事務所」にも、調査に行きたいと思っています。運が良ければ、嵐や関ジャニ∞に会えるかもしれませんね。

研究テーマは「マンガビジネス」です。このひとりで、ほとんどの人が私の研究に興味をもってくれます。「研究」と「マンガ」という言葉の組み合わせが、かなりミスマッチに感じられるからでしょう。難しく堅苦しいイメージの研究と、とっても身近な娯楽であるマンガが、どう結びつくの？ まずは、この研究テーマとの出会いから話しましょう。



私の現在の中心的研究テーマは、女性の就業率がなぜ、地域間で大きく違うのか？ に関することです。女性の労働力を活用することが、日本の経済成長のためには重要であるという議論があります。

たとえば2007年に出されたゴールドマン・サックスのレポートでは、日本のGDPは女性の就業率の上昇によって大幅に上がると指摘し、この数字は国際的な会議で取り上げられもしました。このとても大きな数字が正しいかどうかはともかく、日本の中で女性の就業率に大きな地域差があることは、それほど知られていません。25〜54歳の女性の就業率は東京で62パーセントでしたが、日本海側地域（山形、新潟、富山、石川、福井、鳥取、島根）では77パーセントでした（2007年就業構造基本調査）。したがって、国際比較で観察される就業率の差と同程度の地域差が、日本の国内で存在していることになりました。そして、女性の就業率には大きな地域差がある一方で、男性の就業率の地域差は女性よりもずっと小さいこと、さらに、日本海側地域におけるこの高い女性就業率は、子どもを持つ有配偶女性が正社員として就業する割合が高いことによっており、有配偶女性のパート就業や、無配偶女性の就業の地域差は小さいこと、もデータから確認できます。日本では仕事と家庭の両方が難しいと考えられていますが、日本海側地域で



は、家庭責任が最も高い女性（子供を持つ有配偶女性）が、正規雇用の仕事（労働時間の自由度が低い仕事）に従事し、高い就業率を実現させていることになりました。少し視野を広げて、日本以外にも目を向けてみましょう。女性の就業率に地域差があることは、米国や、ヨーロッパでも同様です。特にヨーロッパでは、北欧の国々と南欧の国々では女性の就業率が異なることは、よく知られています。グローバル化が進めば、女性就業率の地域差は縮小するのでしょうか？

経済学部で学ぶことの魅力の一つは、経済学という学問が、グローバルな視点をもっていることではないかと思えます。また、経済学の多くの部分は、英語で勉強することも可能です。いうまでもなく、英語力はグローバル化時代にもっとも重要なスキルのひとつです。英語で経済学を勉強すれば、経済学を学びつつ、同時に英語力も磨くことができるわけです。グローバル化の時代に広い視野で世界を見てみたい方、多様な見方を身につけたい方、経済学を勉強してみませんか？

## グローバル化時代における女性の就業率

### 安部 由起子 教授

●労働経済学

プロフィール 1987年東京大学経済学部卒業、1994年プリンストン大学大学院（米国）でPh.D. (Economics)。名古屋国立大学、亜細亜大学経済学部助教授を経て、2005年より北海道大学大学院経済学研究科助教授。2009年より現職。

## マンガビジネス

### 岡田 美弥子 准教授

●国際経営論

プロフィール 1995年北九州市立大学経済学部卒業。2000年神戸大学大学院経営学研究科博士課程修了。神戸大学博士。経営学。北海道大学大学院経済学研究科講師を経て、2003年より現職。主要業績は「マンガビジネスの成長」。



# 多切り済の口は 2



# 北海道発！世界に広がるフットワーク

## 高井 哲彦 准教授

プロフィール 東京都出身。1990年慶應義塾大学卒業。国立パリ社会科学高等研究院博士課程修了。パリ・ニューヨーク・ロンドン計13年を経て、1999年より現職。2001-2002年欧州経営大学院フランス/シンガポール) 客員研究員。



出版するのに貢献しました。フィールドワーク担当は、企業エコノミスト・公認会計士による講演や、札幌中央卸売市場・発電所の見学を企画し、韓国ソウル調査も実現しました。ウェブマスターは、ホームページwww.takat.comを立ち上げ、北大ゼミで初めてYahooに登録されました。総務担当は、卒業生との連携や名簿・入会費を担う屋台骨です。ディベート大会にも参加しています。



ゼミ生から一言  
稲村 拓哉  
神奈川県・横須賀高校卒業

高井ゼミは多様性に富んだゼミだと思います。さまざまな国から来た留学生と議論を交わたりすることはもちろんのこと、ゼミ生の留学も積極的に行なっており、海外とのつながりを直に感じられます。

また、ゼミでは卒論のテーマを自分の好きなもののできるため、西洋経済史に限らず経済・経営の幅広い分野を学び、活かすことができます。

このゼミに入って自分の成長を肌で感じる事ができたことはもちろんですし、ゼミで知り合った先輩方や同期のつながりはかけがえの無いものとなっています

高井ゼミの三つの特徴をあげるなら、留学、論文、自主活動でしょう。  
第一に留学。海外研究を専門とすることもあり、今年にはゼミ生の過半数が留学経験者です。留学先は、スウェーデンやカナダ、フランス、フィリピン、スリランカ、ハンガリー、エストニアへの交換留学、チニア政府給費、米国、中国、韓国での学位取得など世界に広がります。進学までは海外に縁のなかった学生もいますが、目を見張るほど成長して帰国するのは頼もしい限りです。

小論文を連続二本書くのです。最初は苦しくても、全員が専門的な文章を書けるようになります。その後、教員との個人指導で卒論テーマを絞込み、20冊以上の本を読み、3年次中にビブリオグラフィカル・エッセイを書き上げます。四年夏休みには現地調査を行って、フィールド・サーヴェイ論文を書きます。これらの集大成である卒業論文は、内外の論文賞で表彰されています。  
第三に自主活動。ゼミ活動は学生自身が運営しています。留学帰国者は、国際関係担当となつて留学情報を収集蓄積します。全学プロジェクトとして三冊の留学体験記を

出版するのに貢献しました。フィールドワーク担当は、企業エコノミスト・公認会計士による講演や、札幌中央卸売市場・発電所の見学を企画し、韓国ソウル調査も実現しました。ウェブマスターは、ホームページwww.takat.comを立ち上げ、北大ゼミで初めてYahooに登録されました。総務担当は、卒業生との連携や名簿・入会費を担う屋台骨です。ディベート大会にも参加しています。



卒業生から  
藤本 剛さん  
東京海上日動火災保険株式会社  
2006年卒業

ゼミとの出会いは人生の転機でした。「異文化に触れてみたい」という思いがインド留学という形になり、挑戦の楽しさを体感しました。今は損害保険という職場で自動車産業の挑戦を応援しています。留宅にホームステイし、スリランカ



卒業生から  
関志保美さん  
キリンビール株式会社  
2013年卒業

留学したい。ボランティアもしたい。真面目に自由に学びたい。何かをしたいと願った時、いつも背中を押してくれるのがゼミでした。海外色溢れる環境や、頭をフル回転させる議論は刺激に満ちています。常にワンランク上のことに挑戦でき、きちんと評価・成長させました。

## 吉見 宏 教授

プロフィール 長崎市出身。1985年九州大学経済学部卒業。同大学大学院経済学研究科修士課程を経て、同研究科博士課程単位取得退学。博士(経営学)。1991年北海道大学経済学部講師、2004年より現職。2012年4月～2016年3月学部長。主著に「企業不正と監査」、「監査期待ギャップ論」など。



## 吉見ゼミ 会計学

# 会計の「今」に個性と情熱で挑む

私の専門は会計学です。といっても、一般にはなかなかイメージがわきにくい学問かもしれませぬ。お金の計算ばかりしているというイメージがあるかも。しかし、実際はそ

お金は、経済にとっては人体の「血」にあたるものです。お金の流れを追えば、経済の動きも、あるいは企業経営の動きもみることが出来ます。これを利用して、お金の流れから経済や経営の動きをみるのが会計学ということになりました。その意味では、お金のことをだけを知っていても会計学がわかるわけではありませぬ。

昔、私は自分の先生から、「会計学は雑学だよ」といわれたことがあります。そのときはよく意味がわからなかったのですが、つまりは、会計学のまわりにある様々な社会現象に関心を持たないと会計学はわからないよ、ということだったのです。それを正直に守っているわけではありませぬが、実は私も会計学以外(?)のいろいろなものに関心をもつて首を突っ込んでいます。

そのうち代表的なのはLRTでしょう。LRTとは、路面電車のような小型の鉄道のことです。経済的で環境にやさしい未来の都市交通と考えられています。要は鉄道好きがこうじて、ボランティアの市民団体をつくりたりしたところから始まったのですが、今ではLRTや北海道新幹線の問題などで、意見を求められることも多くなりました。この面では、実は私は会計学が専門だつて知らない人もいます。



ゼミ生から一言  
松崎 修明  
富山県・富山高校卒業

吉見ゼミは会計学を学ぶだけでなく、それを使って社会を読み解く力を得られるゼミです。毎週、学んだ知識を活かして会計に限らない様々な社会現象を議論・検討するうちに、自然と物事を考えるうえでの視野が広がっていきます。難しい問題や良く知らない分野の話でも吉見先生が身近な例え話を使って、分かりやすく教えてくださいます。勉強以外の悩みでも相談できる学生思いの先生です。

もちろん勉強ばかりでなくディベート大会・野球観戦・ゼミ旅行・OB会などのイベントもたくさんあり、ゼミ生として過ごす二年間は間違いなく楽しいものとなると思います。

一度しかない大学生活を吉見ゼミで過ごすことができ本当に良かったです。



経済政策  
日本経済の  
進路を探る

**小山 光一** 教授  
財政学  
研究しているのは、税金の問題、財政赤字、公共事業、年金・医療、介護保険など私たちの生活に身近な問題です。これらの制度を研究し、みんなが安心して生活できる制度を構築したいと思っています。



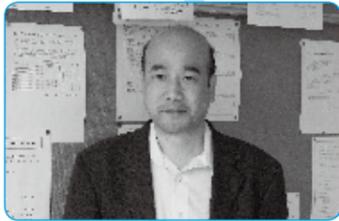
**板谷 淳一** 教授  
公共経済学  
● 4 ページ参照

**安部 由起子** 教授  
労働経済学  
● 5 ページ参照

**成田 大樹** 准教授  
環境経済学  
● 18 ページ参照

**今井 晋** 教授  
産業組織論

データと簡単な経済理論を使って、産業組織論、労働経済学などの研究をしています。いつもデータに頼りすぎず、研究というものはなかなか思うようにいかないものです。



**田中 藍子** 助教  
公共経済学

家族は家事、育児、介護、労働などに対する時間配分、所得分配、結婚や離婚、子を持つか、地域社会への参加など、日々様々な問題に直面しています。それらの問題がどう解決されるか、ゲーム理論を用いて研究しています。



**早川 仁** 助教  
金融経済学

近年のサブプライムバブルとその崩壊は経済に大きな打撃を与えました。バブルはいかにして生じたのか、またいかにして制御するのか、そのような観点から、貨幣・金融システムの設計・制御に関する研究を進めています。



**岡部 洋實** 教授  
社会経済学

資本主義経済の基本的なしくみについての研究をしています。研究の中で痛感するのは、どのような場合にも、幅広い視野・関心と知識が不可欠なこと。これから大学を目指す皆さんには、文系・理系にとらわれず、知識を得ることについて、貪欲であってほしいと思います。



経済と社会  
経済とは何かを  
幅広く思索する

**橋本 努** 教授  
現代経済思想  
● 21 ページ参照



**佐々木 憲介** 教授  
経済思想史

善く生きるとは？—そもそも経済とは、「善く生きる」ための生活の仕方の意味するものだった。経済学が歩んできた道をたどり、経済とは何か、経済学はどのような性格の学問なのか、といった問題を研究している。

**小林 大州** 助教  
進化経済学

イノベーションと物の進化の研究をしています。どちらも経済学の標準的なテキストに書かれていることでは説明しきれない、不確定性の高い対象です。幅広い知識を身に付け、これらを説明できるように頑張っています。



**高井 哲彦**准教授  
西洋経済史  
●9ページ参照

経済史  
混迷の今だからこそ  
温故知新を



**満園 勇**准教授  
日本経済史  
近現代日本の小売業や消費の歴史について研究しています。豊かな「社会」はどのように生まれ、それが今の日本社会にどんな「ゆがみ」をもたらしたのか。そのようなことを問いかけながら、史料に向き合っています。



**韓 載香**准教授  
地域経済史  
日本におけるエスニック・ビジネスの歴史を研究しています。マイノリティといわれる周辺の人々の企業活動の特徴を、産業や成長の可能性に注目して日本社会との関連で明らかにし、グローバル経済のなかに位置づけたいと考えています。



**松村 史穂**准教授  
アジア経済史  
ほぼ毎日報道される中国経済。しかしその経済成長については不安定さが指摘されることも多く、なかなか一筋縄では理解できません。そうした中国経済の独自性を、過去に遡って歴史的に検討したいと思っています。



**柿沢 佳秀**教授  
経済時系列分析  
時系列・多変量解析を中心とした数理統計学の理論研究をしております。経済・経営、あるいは、自然科学に関する様々な数値データを分析するための統計理論は奥深いですよ。



**長谷川 光**教授  
計量経済学  
宮部みゆきの小説に、「これという目的もなく、なんとなく大学へ行こうという男子は、みんな経済学部なんだよな」という文章があります。これが経済学部に対する世間一般の捉え方もかもしれません。しかし、興味をもった点をとことん研究していく自由な環境が経済学部にあることも事実です。



**高木 真吾**教授  
応用計量経済学  
家計は将来起こりうる事態にどう備えているか、社会保障制度の変更はどのような影響をもたらすのか、将来時点の資産価格の動向を市場参加者はどう評価しているか、等々のテーマについて統計分析を行っています。

統計  
経済データの背後にある  
事実の究明

**鈴川 晶夫**教授  
数理統計学  
●24ページ参照



**菊地 雄太**助教  
応用計量経済学  
制度や教育がどう相互依存することで学術研究・特許といった知的産出物が生成されるのか、また、究極的にはそうしたイノベーション活動が経済成長にどう影響を与えるのか、データを元に政策的示唆を得るべく統計分析を行っています。



**園 信太郎**教授  
統計学の基礎  
統計学の基礎をなす確率概念に強い関心を持ってます。特に、米国の統計学者である Leonard Jimmie Savage の思索を読解し注釈しています。とにかく「数学」を真面目に勉強して下さい。そして経済行動を「科学」して下さい。



**齋藤 久光**教授  
都市経済学  
グローバルゼーションの進展とともに、国境を越えて活動する企業が増えています。そこで、地域の経済発展に向けた政策提言を目的に、貿易自由化が企業の立地選択行動に及ぼす影響について研究しています。



**五十嵐 洋介**准教授  
マクロ経済学  
経済モデルは、現実には実験的に行えないマクロ政策もあれこれシミュレーションして効果を試せる仮想空間です。そこにどんな消費者や企業が存在すれば、均衡における投資や価格のパターンが現実データと同じになるのか。より良いモデルを求めてマクロ経済学者たちの奮闘が続きます。

経済理論  
経済のダイナミズムを  
モデル化する

**町野 和夫**教授  
ゲーム理論  
●23ページ参照



**久保田 肇**教授  
ミクロ経済学  
英国人の著名な経済学者であった故ジョン・ロビンソン女史は経済学を学ぶ理由は経済学者に騙されない為だ、と言っています。まさにそれが経済政策の失敗の連続による90年代の「失われた十年」からの教訓であり、経済学を学ぶ事に大きな意義があるのです。

国際経済学  
グローバルではない  
ローカルなど存在しない

**須賀 宣仁**准教授  
国際経済学  
●7ページ参照  
**樋渡 雅人**准教授  
開発経済学  
●8ページ参照  
**代田 豊一郎**准教授  
国際金融論  
●19ページ参照



**大野 由夏**教授  
国際政治経済学  
医療・ITからクリーンエネルギーに至るまで、先進国間の最先端技術開発(R&D)競争はますます激しくなっています。知的財産権・貿易政策、また国内の競争政策などがR&D競争にどのような影響をもたらすのか?という問題を研究しています。

個性的な  
教授陣

**佐々木 潔教授**  
企業法  
金融庁や復興庁等での実務経験があります。現在は、金融商品取引法の主に企業内容等の開示（ディスクロージャー）制度に関する研究をしています。大学では、勉強やサークル活動、特にゼミを通じて、生涯の友人を得てください。



佐々木 潔教授

**蟹江 章教授**  
監査論  
混迷の時代だからこそ、現象の裏に隠されている真実を見極める力をつけたいもの。人間の判断を通じて企業の真実に迫ろうというのが会計監査。鋭い洞察力をもった君の思考回路に、さらなる刺激を与えたいと請け合います。



鈴木 広人助教

**鈴木 広人助教**  
経営情報学  
市場の成熟化に伴い、企業のマーケティングに関わる意思決定は重要性を増してきています。この意思決定には消費者購買行動の分析が必要不可欠であり、私は確率、統計を用いた分析手法を研究しています。



経営情報  
ITと経営システムの  
統合を科学する

**田中 嘉浩准教授**  
経営数理  
経営科学、経済理論のみならず、工学、理学等様々な分野に於いて生じる多くの現象は「最適化」の原理で説明できることが多い。数理計画等の最適化理論や応用数学を専門とする。エルデンシ数14。



田中 嘉浩准教授

**後藤 允准教授**  
経営情報学  
企業がプロジェクトに投資するためには、多額の費用が必要になります。その費用に見合ったリターンが得られなければ、投資は失敗となります。不確実な経済環境の中、賢くリターンを得るために、投資決定理論があります。私はこの投資決定理論を情熱と数学で研究しています。



後藤 允准教授

**平本 健太教授**  
経営戦略論  
経営哲学の巨人であるピーター・ドラッカーは、「有能さは修得できる」と言いました。有能さを修得するためには、学生と教授陣との相互作用はもちろん、学生同士の切磋琢磨も不可欠です。ゼミという学びの場を最大限利用して、有能さを修得しましょう。



平本 健太教授

**坂川 裕司教授**  
マーケティング  
皆さんもご存じの通り、世の中には売れる商品と売れない商品があります。また儲かる店と儲からない店があります。どうして、こんな差がでるのかなあ、ということをご日夜「マーケティング」や「流通」の問題として考えています。



坂川 裕司教授

**米山 祐司教授**  
財務諸表論  
企業はわれわれの生活にいろいろな面で関わってきていますが、その企業の状態や活動を知る有効な手段が会計情報です。そして、公表される会計情報が有用なものとなるようにするのが財務会計の役割であり、これが私の研究領域です。



米山 祐司教授

**春日部 光紀准教授**  
会計史  
現在は、アメリカの会計史を中心に研究しています。「会計」というと、計算ばかりをやっている無味乾燥なイメージを持たれがちですが、歴史的な視点から眺めると、違った側面が見えてきます。



春日部 光紀准教授

経営の  
会計情報は縮図



久保 淳司准教授  
会計基準論

●22 ページ参照

吉見 宏教授  
会计学

●10 ページ参照

**櫻田 讓准教授**  
税務会計論  
現状では租税訴訟は医療訴訟と並んで原告（納税者）勝訴が困難です。そこで最近、税理士と弁護士が中心となって租税訴訟を専門とする学会が設立され、話題となっております。講義では所々で興味深い裁判や判決の事例を紹介いたします。



櫻田 讓准教授

経営学  
マネジメントの時代の  
旗手たち

岡田 美弥子准教授  
国際経営論

●6 ページ参照

谷口 勇仁教授  
経営管理論

●11 ページ参照

岩田 智教授  
企業行動論

●17 ページ参照

松尾 睦教授  
非営利組織論

●21～22 ページ参照

**阿部 智和准教授**  
組織イノベーション論  
情報共有や知識の活用をするために望ましいオフィス・レイアウトとはどのようなものか、ということについて経営学の視点から研究しています。在学中に、ひとつの問題を分析する際に、多様なアプローチの仕方があることを学んでください。



阿部 智和准教授



相原 基大准教授

**相原 基大准教授**  
経営組織論  
地域の起業家がネットワークを形成しイノベーションを実現するメカニズムについて研究しています。組織論の醍醐味はなぜと感ずる一見不可解な組織の動きを論理的に捉える知見を得る点にあります。本学で様々な知見を学び、現実を読み解く面白さを体験して下さい。

**宇田 忠司准教授**  
アントレプレナーシップ  
個人（独立・起業）及び人々を中心にしたキャリアや組織と個人の関係性・チームやプロジェクトのマネジメントについて研究しています。大学では、多様な考え方やもの見方を学びながら、社会現象を的確に捉える力を養ってください。



宇田 忠司准教授

**篠田 朝也准教授**  
管理会計論  
管理会計は、企業の経済活動における問題点の解決に役立つ情報を提供するものです。近年では、公的組織にも、その効率的な運営を目指して管理会計の導入が試みられています。会計専門職のみならず、民間企業や公務員を目指す人にも、管理会計の知識は有益なものとなります。

岩田智教授

●企業行動論

# グローバルな視点から 企業行動 を分析する

皆さんは、消費者として、日本企業や  
外国企業が生産した製品(あるいはサービス)を  
目にしたり、利用したりしていると思います。^



プロフィール 北海道出身。1991年神戸大学大学院経営学研究科博士後期課程単位取得退学。博士(経営学)。香川大学経済学部助教授、北海道大学大学院経済学研究科助教授を経て、2007年より現職。主要著書、論文に『グローバル・イノベーションのマネジメント』中央経済社(日本経営学会賞受賞)、『An Analysis of Global R&D Activities of Japanese MNCs in the US: From the Knowledge-Based View,』(共著) IEEE Transactions on Engineering Management (IEEE賞受賞)など。



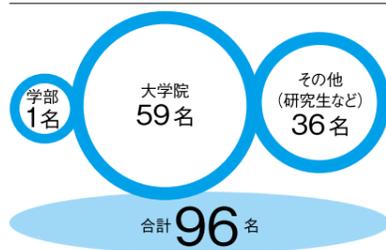
また、特定国の企業の製品であっても、製品によっては、別の国の企業に生産を委託していることもあります。そのため、もしそれらの製品に関して、問題を抱えておりその原因を調べたい、あるいは優れているのでその要因を知りたいといった場合には、どこの国の企業が、どこの国で、どのように生産したのかを分析する必要があります。すなわち、国内および海外も含めたグローバルな視点から企業行動を分析することが必要になります。

は、国内および海外も含めたグローバルな視点から企業行動を分析することも必要になります。  
このように、私たちは、さまざまな場面あるいは立場において、グローバルな視点から企業行動を分析することが

製品のみならず海外から入ってきた外国企業や外国製品と競争しなければなりません。また、海外に進出した国際企業であれば進出先で外国企業や外国製品と競争しなければなりません。企業は、国内のみならず海外でも研究開発、生産、販売といったさまざまな活動を展開しています。その際には、海外の状況に合わせた活動も必要になります。売上や利益の多くを海外での活動から得ている企業も増加しています。皆さんが、将来、企業に就職した場合には、このような企業行動の担い手になるかもしれません。その際に

求められるようになってきています。したがって、皆さんには、そのための分析能力を身につけていただきたいと思っています。





アメリカ、フィンランド、ドイツ、アゼルバイジャン、ウズベキスタン、中国、韓国、台湾、ブルネイ、ベトナム、ラオス、エリトリア、ケニア、マダガスカル、ペルー

また、海外から経済学部・大学院に留学する学生も年々増え、図のように地域も多様化しています。

## 経済学部の留学事情

研究者や学生の国際交流は年々活発になっていきます。正確な人数は把握できませんが、経済学部の三、四年生もその一割近くが様々なルートで留学や語学研修に出かけているようです。

公式なルートとしては、北海道大学は2016年2月時点で47カ国・地域174機関と大学間交流協定を結んでおり、その中には交換留学制度、単位互換制度などの協定を結んでいる大学も多くあります。さらに経済学部(経済学研究院)でも独自に4カ国4大学(研究機関と交流協定を結んでいます)。

このような学内の公式制度で平成27、28年度に経済学部生・大学院生が留学している大学は、ポートランド州立大学、ハワイ大学マノア校、オハイオ州立大学(アメリカ)、ニューカッスル大学、エジンバラ大学、シエールフィールド大学(イギリス)、イエーテボリ大学、ウメオ大学(スウェーデン)、ヘルシンキ大学(フィンランド)、ミュンヘン大学(ドイツ)、タールトウ大学(エストニア)、マドック大学、シドニー大学(オーストラリア)、オークランド大学(ニュージーランド)、復旦大学(中国)、国立台湾大学(台湾)、デラサール大学(フィリピン)、デリー大学(インド)、ベトナム国家大学ホーチミン校(ベトナム)です。

# 世界で活躍 する人になるために

グローバル



代田 豊一郎 准教授  
●国際金融論

私が初めて海外で生活したのは、社会人になってから、26歳の時でした。会社から2年の派遣留学期間を貰い、アメリカで経済学を勉強するチャンスに恵まれました。

それまで完全な「ドメスティック派」であった私は、初の海外生活で、様々なカルチャー・ショック(生卵は食べられないとか、スリッパは売ってないとか...)を受けたのを鮮明に覚えています。

帰国後は、その頃に起こった国際的な金融危機の影響もあって、海外の実務家達と、一緒に仕事をできる機会が一気に増えました。「次の金融危機を起こさないために何ができるのか?何をすべきなのか?」など、グローバルな視野に立った国際金融の議論に触れたことは、非常に刺激的な経験でした。

こうした経験を通じ、世界で活躍している人々を見て、私なりに幾つか気付いたことがあります。一つは、スキルセットに関するものです。スキルといえは、「英語が流暢にしゃべれなければ!」と思いついていたのですが、実は、国際的な場において、英語が母国語でない人は少なくありません。英語の巧拙以上に求められるのは、共通の土台に立った議論が

プロフィール 長野県出身。慶應義塾大学総合政策学部卒業後、日本銀行金融研究所、金融市場局、調査統計局等を経て、2016年より現職。主な業績に、「What is the major determinant of cross-border banking flows?」*Journal of International Money and Finance*, 2015. など。



できること。文化や育ってきた環境が異なる世界各国の人たちと仕事をする際には、議論をする上での共通の土台を見出すことが必要です。そうした際の「共通言語」として、経済学の素養や理解が重視されているように思います。

もう一つは、マインドセットに関するものです。自分の意見を述べるのが非常に重視される一方、相手にも敬意を払いしつかりと聞く、そんな姿勢を示す人が少なくありません。その背景には、自分とは違う主張であったとしても異なる意見を尊重するという、「多様性への寛容」があるように思います。

北海道大学経済学部では、多くの海外の大学と提携して交換留学の機会を提供するなど、「多様性への理解」を深めるチャンスが豊富です。もちろん、世界で活躍する際の共通言語のひとつともいえるべき、経済学のロジックや知識を学べることは言うまでもありません。ぜひ、経済学部で、世界で活躍できる人材を目指してみませんか?

## 【留学生から】

### 相川 雄哉

●インド・デリー大学、スコットランド・エジンバラ大学留学  
(北海道・北広島高校卒業)



2015年1月から5月にデリー大学、2015年9月から2016年2月までエジンバラ大学に交換留学で行きました。ゼミ教員や仲間の協力のおかげで実現できた途上国と先進国の2段階留学です。留学の一番の意義は自分の中の判断軸が増えたことです。留学をするまでは文化や価値観の違いに直面しても日本人の自分という判断軸でしか物事を考えることができませんでした。しかし留学を経て、その土地の文化や考え方に染まっていく中で生まれたのは、異なる価値観に基づいた判断軸でした。例えばニュースを見ていても「インド人ならこう考える。イギリス人ならこうだな。」と一つのことに對して様々な角度から考えられる視点を持つことができるようになりました。これは留学をしなければ得られない力だと強く感じます。もちろん留学は楽なことばかりではありませんでした。しかし1週間や2週間ではなく、数ヶ月間その場所に住み、同じ学生と切磋琢磨しながら成長することができた留学は自分の人生を変えたかけがえのない経験となりました。

### 塩田 卓也

●アメリカ・ハワイ大学留学 (大阪府・四條畷高校卒業)



私は、3年生の8月から約9か月間、アメリカのハワイ大学マノア校で交換留学生として学んできました。大学を卒業した後の進路として海外の大学院に進学することを考えていたため、学部生の中に一度海外の大学での勉強を経験してみたいと思い、交換留学することに決めました。留学するまでは海外へ行ったことがなかったので、日本人が暮らしやすいという印象から、留学先をハワイ大学に決めました。

留学が始まって最初の数か月は毎日が辛かったです。それなりに英語の勉強をしてきたつもりですが、自分の英語がなかなか伝わらず、授業も黒板に書かれた文字を書き写すことに必死で、先生が話している内容は一切わかりませんでした。それでも諦めずに、家族や友人、ゼミの先生の支えを受けながら毎日コツコツ頑張り続けた結果、留学が終わるころには授業で積極的に発言をしたり、一人でネイティブの学生たちの前でプレゼンテーションができるようになっていました。留学を終えて、現在は海外の大学院に進学するための準備を進めています。交換留学で得た経験を糧にして自分の目標に向けて進んでいきたいです。

### 五野井 りほ

●アメリカ・オハイオ州立大学、中国・復旦大学留学  
(北海道・苫小牧東高校卒業)



2014年8月~2015年5月の約10か月間はアメリカ、2015年8月~12月の約5か月間は中国へと2か国に交換留学でいきました。オハイオ州立大学は、「レベルの高いビジネスカレッジで専門を学びたい」「多様性の中に溶け込んで生活したい」という思いから参加を決めました。アメリカで生活しているうちに、中国人の積極性と国際性に圧倒され、将来を見据えて中国への留学も決心しました。

留学は北海道で育った道産子の私にとって、波乱万丈の毎日でした。留学中は、平日はサークルの後に24時間開館している図書館で何度も夜が明けるまで籠り、週末は友人と羽を伸ばし、長期休暇は学生会議、フォーラム、ボランティア、アルバイト、というような生活をしていました。留学での収穫は沢山ありますが、中でも自分自身や日本を、外から客観的に見ることができた点が大きいです。留学によって、今まで感じたことのない苦労をたくさん味わいました。しかし、すべてが新鮮で、学びであり、そして知的好奇心がくすぐられる楽しい瞬間でした。卒業後は、今まで見て、体験してきたこれまでの経験を生かし、お世話になった社会に貢献していきたいと本気で考えています。

### デュラン・ジャネラ

●ペルー出身



こんにちは! ペルーから来た留学生のジャネラです。文部科学省の奨学金を受けて日本に来ました。来日した最初の1年間は大阪に住んでいました。

進学先を決める時にいろいろな大学について調べました。その中で最も興味を持ったのが北大でした。キャンパスはとても綺麗で、季節の変化がはっきり見られます。でも北大の魅力はキャンパスの美しさだけではありません。指導して下さる先生たちの研究テーマや科目の内容も様々で、勉強できることがたくさんあります。

札幌も素敵な街です。坂道がほとんどなく、大阪に住んでいた時と違って、自転車でもどこへも行けます。他にも雪まつりや札幌まつり等の季節ごとの大きなイベントがたくさんあって、とても楽しいです。皆さんも日本での留学を考えていけば、是非北大に来てください。It's worth it!



橋本努 教授  
●現代経済思想



# 経済思想 で政策ビジョンを争う

一九八〇年代の米国大統領ロナルド・レーガンは、当時としてはいかがわしいとされた「サプライサイド経済学」を用いて、各種の規制緩和と政策を実行しました。いまでは正当な評価を得ていますが、当時は「ブードゥー・エコノミー」と揶揄されたほどです。二〇一二年末に始まった第二次安倍晋三内閣もまた、根柢の乏しい経済理論に基づいて日銀法の改正を迫り、量的緩和などの政策を断行しました。経済学者たちは自身の研究が世の中に

役立つと言いますが、実際には肝心の政策構想があまり研究されていないようです。求められるのは政策の総合的なビジョンとその裏づけではないでしょうか。  
そのためにはいわば大風呂敷を広げて、新しい政策構想をたくましく論じなければなりません。経済思想は、過去三千年の人類の英知に学び、知恵を総動員してこの社会の行く末を考えます。人々に透徹した理性と熱き情念を喚起し、構想力を養うことがその仕事です。



プロフィール 東京都出身。1996年東京大学大学院総合文化研究科博士課程修了。学術博士。同年北海道大学経済学部講師、2011年より現職。著書に『自由の論法』(創文社)、『社会科学の人間学』(勤草書房)、『帝国の条件』(弘文堂)、『自由に生きるとはどのようなことか』(ちくま新書)、『経済倫理=あなたは、なに主義?』(講談社)など。

松尾 睦 教授  
●非営利組織論

# 経験から学ぶ メカニズムを探る

成人の成長の七割は自分で経験したことによって決まると言われています。例えば、「新しい商品を開発した経験」「組織を変革した経験」「部下を育成した経験」「いろいろな部署と連携した経験」等が企業人を成長させるに指摘されています。しかし、同じ経験をしても、成長する人とならない人がいますが、なぜこのような違いがあるのでしょうか。それは、経験から学ぶ力の違いです。経験から学ぶ力には、高い目標にチャレンジする力(ストレッチ力)、自分の経験を振り返り学びを引き出す力(リフレクション力)、仕事の中にやりがいや喜びを感じ取る力(エンジョイメント力)という三つの力があります。これらの力を持つ人は、日々の経験を通過して成長することができるのです。逆に、できることしかしない人、仕事をやりっぱなしにして振り返らない人、仕事に意義を感じられない人は、なかなか成長できません。なお、成長している企業では、「ストレッチ、リフレクション、エンジョイメント」という三つの要素を刺激することで、人材を育成しています。皆さんも、経済学部の学びを通して、経験から学ぶ力を身につけてください。

プロフィール 札幌市出身。1995年北海道大学経済学部卒業。2000年同大学院経済学研究科博士後期課程修了。博士(経営学)。同年北海道大学大学院経済学研究科講師、2002年より現職。著書に『1株当り利益会計基準の研究』(同文館)など。ブルックナーのシンフォニーが流れる資料が山積みされた研究室にいます。

# リスクの 会計認識に挑む

久保 淳司 准教授  
●会計基準論



今日の会計でもっとも重要な問題は時価に関わる問題です。



会計における時価とは、「測定日に市場参加者間で秩序ある取引が行われた場合に資産の売却によって受け取るであろう価格または負債の移転のために支払うであろう価格」という厳格しい専門用語です。このような厳密に定義された時価を使って企業情報を表現すると、環境修復義務、潜在的損害賠償義務、税務リスクといった企業の「隠れリスク」を露わにすることが可能になり、一般公衆にとってより有益な企業情報になります。他方、企業サイドからは、時価情報のおかげで純資産や利益延びては配当や株価の変動性が高まり、銀行や保険会社を中心に多くの企業の業績に苛酷な影響が及ぶと喧伝されてもいます。

時価情報の利用への社会的影響は大きい「良薬

は口に苦し」ではすまされない問題は解決していかねばなりません。真つ先に思い浮かぶ問題として、「リスク」は見積もりによって時価を算定するため、企業情報が恣意的に操作できるのではないかという信憑性に関わる問題があります。より専門的な問題には「時価評価のパラドクス」という問題があります。これは「リスク」の時価を算定する際に、企業の信用度を反映すると信用度の低下によって利益が生じてしまうという直感に反する事態が起きてしまう問題です。

これらの他にも時価に関わる問題はたくさんあります。それらの問題への実行可能な解決策の処方は困難なのですが、やり遂げなければなりません。会計は単なる金勘定ではなく、公平・公正な経済社会を作り上げるインフラだからです。

プロフィール 東京都出身。1988年小樽商科大学商学部卒業。ランカスター大学(英国)博士課程修了。Ph.D. (in Management Learning)。神戸大学経営学大学院教授を経て、2013年から現職。主な著書に『成長する管理職』(東洋経済新報社)、『経験からの学習: プロフェッショナルへの成長プロセス』(同文館出版)、『経験学習入門』(ダイヤモンド社)など。



長させると指摘されています。しかし、同じ経験をしても、成長する人とならない人がいますが、なぜこのような違いがあるのでしょうか。それは、経験から学ぶ力の違いです。経験から学ぶ力には、高い目標にチャレンジする力(ストレッチ力)、自分の経験を振り返り学びを引き出す力(リフレクション力)、仕事の中にやりがいや喜びを感じ取る力(エンジョイメント力)という三つの力があります。これらの力を持つ人は、日々の経験を通過して成長することができるのです。逆に、できることしかしない人、仕事をやりっぱなしにして振り返らない人、仕事に意義を感じられない人は、なかなか成長できません。なお、成長している企業では、「ストレッチ、リフレクション、エンジョイメント」という三つの要素を刺激することで、人材を育成しています。皆さんも、経済学部の学びを通して、経験から学ぶ力を身につけてください。



プロフィール 山口県出身。1995年北海道大学大学院工学研究科博士課程修了。博士(工学 北海道大学)。1995年東京理科大学助手、1997年北海道大学工学研究科助手、1998年帯広畜産大学助教授を経て2001年より現職。専門は「多変量解析」、「生存時間解析」。2005年日本統計学会小川奨励賞受賞。

サバイバルアナリシス(生存時間分析, survival analysis)とは、時間に関する統計データ解析法の総称です。医学における人間の寿命の分析(Lifetime data analysis)、工学における機械が故障するまでの時間の分析(信頼性工学, reliability analysis)、経済学における失業継続時間・企業が倒産するまでの時

間など経済活動が継続する時間の分析(継続時間分析, duration analysis)などを含めて、サバイバルアナリシスと呼ばれる。

サバイバルアナリシスにおいては、時間に関するデータを扱うがゆえに、実験・調査などによってデータを取得する際に、一つの大きな問題が生じます。時間を観測するためには時間がかかる、ということなのです。しかし、実験・調査は気長にやれば良い、というものではありません。一定期間内に、実験・調査を終了し、データ解析を行い、解析結果を導かなければなりません。

例えば、失業継続時間を一年間調査して、調査結果を分析する場合を考えてみます。この一年間に失業した人を追跡調査します。調査期間中に就職し

# サバイバル アナリシス で時間を分析する

鈴木 晶夫 教授  
● 数理統計学



人については、その失業継続時間を  
知ることができません。しかし、追跡調査  
終了時点でまだ失業中の人については、  
その失業継続時間を正確に知ることは  
できません。もちろん、この人が就職す  
るまで気長に待つわけにもいきません。  
したがって、このような人についての失  
業継続時間は、打ち切り(censor)を受け  
ることになります。しかし、打ち切りを受け  
た観測値を無視して解析を行えば、当  
然、分析結果には偏りが生じます。

完全に観測されたデータに、観測を  
打ち切られたデータを加えて、いかに偏り  
のない分析結果を導くか。時間を観測  
するには時間がかかることはやむを得  
ないこととしても、そのなかでいかに短  
期間に有用な分析結果を導くか。それ  
がサバイバルアナリシスの面白さです。

## ノーベル経済学賞受賞者リスト

ノーベル経済学賞(アルフレッド・ノーベル記念経済学スウェーデン銀行賞)は社会科学分野では唯一のノーベル賞です。1968年にスウェーデン銀行が銀行設立三百周年に際して、アルフレッド・ノーベルを偲んで設立しました。あなたが日本人第一号となる可能性のある唯一のノーベル賞です。挑戦してみませんか。

- 1969 R. フリッシュ(フルウエー)
- 1970 J. ファンバーゲン(オランダ)
- 1970 P. A. サムエルソン(アメリカ)
- 1971 S. クズネツ(アメリカ)
- 1972 J. R. ベロックス(イギリス)
- 1973 W. L. リーオン(アメリカ)
- 1974 G. ミリタール(スウェーデン)
- 1975 L. V. カントロウィッチ(ソビエト連邦)
- 1976 M. フリードマン(アメリカ)
- 1977 B. オーリン(スウェーデン)
- 1978 H. A. サマモン(アメリカ)
- 1979 T. W. シュルツ(アメリカ)
- 1980 L. R. クラマン(アメリカ)
- 1981 J. トービン(アメリカ)
- 1982 G. J. スタイン(アメリカ)
- 1983 G. F. トラブロー(アメリカ)
- 1984 R. ストーン(イギリス)
- 1985 F. H. ハーバート(アメリカ)
- 1986 J. M. ナキヤナン(アメリカ)
- 1987 R. M. ロー(アメリカ)
- 1988 M. ブランソ(スウェーデン)
- 1989 T. ホーヘル(ルウエー)
- 1990 H. M. マリコウツ(アメリカ)
- 1991 R. H. コース(アメリカ)
- 1992 G. S. ヘックカー(アメリカ)
- 1993 D. C. ノース(アメリカ)
- 1969 R. フリッシュ(フルウエー)
- 1970 J. ファンバーゲン(オランダ)
- 1970 P. A. サムエルソン(アメリカ)
- 1971 S. クズネツ(アメリカ)
- 1972 J. R. ベロックス(イギリス)
- 1973 W. L. リーオン(アメリカ)
- 1974 G. ミリタール(スウェーデン)
- 1975 L. V. カントロウィッチ(ソビエト連邦)
- 1976 M. フリードマン(アメリカ)
- 1977 B. オーリン(スウェーデン)
- 1978 H. A. サマモン(アメリカ)
- 1979 T. W. シュルツ(アメリカ)
- 1980 L. R. クラマン(アメリカ)
- 1981 J. トービン(アメリカ)
- 1982 G. J. スタイン(アメリカ)
- 1983 G. F. トラブロー(アメリカ)
- 1984 R. ストーン(イギリス)
- 1985 F. H. ハーバート(アメリカ)
- 1986 J. M. ナキヤナン(アメリカ)
- 1987 R. M. ロー(アメリカ)
- 1988 M. ブランソ(スウェーデン)
- 1989 T. ホーヘル(ルウエー)
- 1990 H. M. マリコウツ(アメリカ)
- 1991 R. H. コース(アメリカ)
- 1992 G. S. ヘックカー(アメリカ)
- 1993 D. C. ノース(アメリカ)

- 1994 J. C. ハーサーニ(アメリカ)
- 1995 R. F. ナッシュ(アメリカ)
- 1996 J. ヴァーリ(カナダ)
- 1997 R. C. マートン(アメリカ)
- 1998 A. セン(インド)
- 1999 R. A. マンデル(アメリカ)
- 2000 J. ヘックマン(アメリカ)
- 2001 A. A. アカロフ(アメリカ)
- 2002 J. E. スタイグッツ(アメリカ)
- 2003 D. カルネマン(アメリカ)
- 2004 V. L. ハリス(アメリカ)
- 2005 R. J. オーマン(イスラエル)
- 2006 E. S. フェルブス(アメリカ)
- 2007 L. H. ハウソック(アメリカ)
- 2008 P. クルトマン(アメリカ)
- 2009 E. オストロム(アメリカ)
- 2010 P. タイアモンド(アメリカ)
- 2011 C. ヒザリデス(イギリス)
- 2012 A. ロス(アメリカ)
- 2013 E. ファーマ(アメリカ)
- 2014 J. テイロル(フランス)
- 2015 A. デイト(アメリカ)
- 2016 O. ハルト(アメリカ)
- 1994 J. C. ハーサーニ(アメリカ)
- 1995 R. F. ナッシュ(アメリカ)
- 1996 J. ヴァーリ(カナダ)
- 1997 R. C. マートン(アメリカ)
- 1998 A. セン(インド)
- 1999 R. A. マンデル(アメリカ)
- 2000 J. ヘックマン(アメリカ)
- 2001 A. A. アカロフ(アメリカ)
- 2002 J. E. スタイグッツ(アメリカ)
- 2003 D. カルネマン(アメリカ)
- 2004 V. L. ハリス(アメリカ)
- 2005 R. J. オーマン(イスラエル)
- 2006 E. S. フェルブス(アメリカ)
- 2007 L. H. ハウソック(アメリカ)
- 2008 P. クルトマン(アメリカ)
- 2009 E. オストロム(アメリカ)
- 2010 P. タイアモンド(アメリカ)
- 2011 C. ヒザリデス(イギリス)
- 2012 A. ロス(アメリカ)
- 2013 E. ファーマ(アメリカ)
- 2014 J. テイロル(フランス)
- 2015 A. デイト(アメリカ)
- 2016 O. ハルト(アメリカ)

2タイプの入試

学部別入試

「将来学びたい学部がはっきりと決まっている学生」のための入試です。

総合入試

「学ぶ内容や所属する学部を入学後に決めたい学生」のための入試です。

前期日程

学部別入試：募集人員140名

●大学入試センター試験で、六教科を受けた受験生について、国語、数学、外国語の試験を行い、経済学部で勉強する基礎学力を判定します。

総合入試：募集人員100名(うち、30名程度が経済学部へ移行)

●大学入試センター試験で、六教科を受けた受験生について、国語、地理歴史又は数学、外国語の試験を行い、文系学部で勉強する基礎学力を判定します。

●入学してからの一年間、「自分が本当に学びたいことは何なのか、将来どのようなことをしたいのか、どの学部が自分に合っているのか」についてとことん考え、二年次に進級する際、自分が「移行」する学部を決定します。

後期日程

学部別入試：募集人員20名

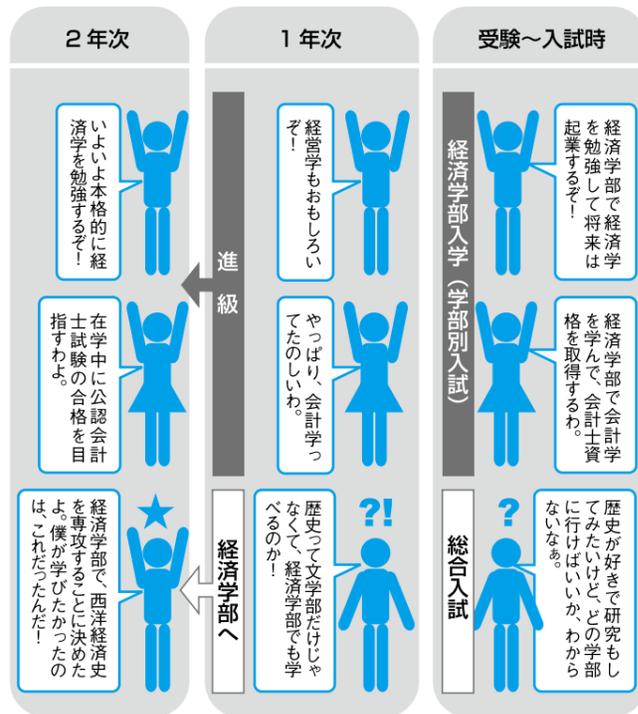
●大学入試センター試験で、六教科を受けた受験生について、小論文を出題し、人文・社会科学に関する文献などの読解力や一定の知識があるかどうか、また、経済学や経営学などの社会科学を学ぶための論理的思考力や論文構成力を持っているかどうかについて判定します。

オープンキャンパス

わたしたちの魅力を皆さんにもっと知ってもらうため、経済学部では毎年夏にオープンキャンパスを開催しています。学部の紹介や現役学生からのメッセージ、体験講義や体験ゼミなど、経済学部ではいかなる勉強ができるのか、経済学部生の生活はどのようなのかについて、分かりやすく説明しています。経済学部ってどんな学部?どんな勉強ができるの?卒業後の進路は?どんな先生たちがいるの?など、経済学部で少しでも興味がある皆さんは、気軽にどんどん参加してください。皆さんの参加を楽しみに待っています。



※体験講義や体験ゼミは事前に申し込みが必要です。詳しくは、北海道大学アドミッションセンター TEL 011-706-7484・7485 ac-info@academic.hokudai.ac.jp にお問い合わせください。



カリキュラム

入学したらしっかりと勉強しよう！

全学教育科目

入学後の最初の一年間は、二年次以降、経済学や経営学を専門的に学ぶための基礎となる「全学教育科目」を中心に履修します。社会科学系の学問領域にとどまらず、自然科学や人文科学など、幅広い学問に触れて下さい。よりリアルに社会現象を捉える「物の見方・考え方」を身につけるための大切な一年間です。将来、グローバルに活躍するために必須となる外国語もこの時期にしっかりと修得しましょう。

専門科目

二年次からは本格的に専門科目が始まります。専門科目の講義には修得すべき学年が指定されています。たとえば、一年生でマクロ経済学Iとミクロ経済学Iを履修し、三、四年生で、より高度な内容のマクロ経済学IIやミクロ経済学IIを履修するというように、基礎的な内容から、より高度な内容へと段階的に専門分野の知識や考え方が修得できるよう、カリキュラムが編成されています。

集中講義・特別講義

現代の経済学・経営学は専門化と多様化が進んでいるため、全ての領域の先端的研究を一つの大学でカバーすることが難しくなっています。そこで、主に一学期の終わりに「週間程度、カリキュラムで設定されていない領域の第一線の研究者数名を他大学・研究機関から

招き、集中的に講義を行います。

また、教科書だけでは学べない現実の経済や経営の最前線について学んでもらうため、政策立案のプロ(各種官公庁の政策担当者、金融や経営のプロ(企業経営者、金融専門家、会計士)などを招いた特別講義も例年開講されています。

演習(ゼミ・ページ参照)

カリキュラムの最大の特徴は、ゼミが必修科目に指定されていることです。経済学部生は三、四年生の二年間、一つのゼミに所属します。ゼミは毎日の時間割の最後に配置されており、必要なら時間を延長して議論を闘わせることが可能です。三年生と四年生が一同に集まってゼミを行う点も他大学にはあまり見られない特徴であり、「卒業論文」や「就職活動」等について先輩から実体験に基づくアドバイスが得られます。各ゼミの定員は、一学年あたり四〜七名程度と少人数なので、きわめて密度の高い研究指導を教員から直接受けることができるのも大きな魅力です。ゼミで得られる、先生、先輩、同期生、後輩との人間関係は、皆さんの人生の貴重な財産です。

一年間にわたるゼミでの研究活動の集大成として、また、大学生生活四年間の証しとして、学生全員が卒業論文を作成します。経済学部ではその重要性を強調し、努力を重ねて優れた卒業論文を執筆した学生を高く評価するために「卒業論文報奨制度(コラム参照)」を設けています。

卒業論文報奨制度

各ゼミの指導教員が推薦した卒業論文の中から、優秀なもの10本程度が「特選論文」に認定される。その中でも特に優秀なものに「経済学部長賞」が授与され、それに準ずるものに「同窓会長賞」が授与される。また、両賞に準ずるものがある場合は「佳作」として表彰される。「特選論文」は図書室に長期間保管され、後輩たちが論文を執筆する際の参考となる。



経済・経営を学ぶことは、社会に出てさまざまな仕事に就くための格好の準備になります。経済学部での勉強が、現実の就職活動にも大いに役立っていることは卒業生たちの就職先にも現れているといえましょう。また、ゼミでの経験は、

物事を深く考え、徹底的に議論し、問題を解決する力を高めてくれます。経済学部での四年間を通じて、単なる就職活動対策などでは決して身につかない本当の実力が、知らず知らずのうち自分のものになっていくのです。



梶原 龍之介  
新潟県・新発田高校

■アクセンチュアに就職

初めて北大にきたのは高校2年生の時でした。広くて綺麗なキャンパスに圧倒され、大学生活をここで過ごせたら楽しいだろうなと思ったのを今でも覚えています。

あれから6年経った今、その期待は間違っていないかと確信しています。大学ではアーチェリー部に入り部活に取り組み一方で、経済学部の授業も積極的に参加し、忙しくも充実した日々を過ごしてきました。特に3年次から始まったゼミでは先生・先輩・同期と共に勉強だけでなく飲み会なども含め、楽しい日々を過ごすことができました。この思い出は忘れられない私にとっての財産です。

来年、私はコンサルティング業界へと就職します。人とかを議論して答えを探すという仕事に興味を持ったのもゼミでの経験があったからこそだと考えています。北大で学んだことを存分に生かし、社会人として成長していきたいと思っています。



吉田 彩華  
北海道・札幌北高校

■マイナビに就職

私は総合入試で入学し、学部選択で文学部と迷った末に経済学部を選びました。ゼミ選択の際に私が出会ったのは、経済学部はもちろん、文学部で扱うような内容もできるゼミ。実際に入り、3年次には一年かけて「男女構成や作業条件の変化が集団の態度・行動に及ぼす影響」について調査・研究しました。このように学際的な学びもできるゼミで自分の興味関心を深められたことは私にとって大きな糧になりました。

サークル、学生団体、アルバイト……。駆け抜けた大学生活でしたが、ゼミ活動はそんな欲張りな私を支えてくれました。両立を重んじて様々な課外活動を応援してくれる先生や仲間と共に、立ち止まらずにしっかりと頭を働かせることのできる時間。ゼミのある毎週金曜日は週末ですが、私にとっては「また頑張ろう」と思える一週間の始まりでした。

卒業後は、ゼミでも研究した人と人とのコミュニケーションに関わる仕事に就き、頑張っていきたいと思っています。



吉田 侑太  
東京都・都立駒場高校

■村田製作所に就職

私は学生生活の中でサークル活動とゼミ活動に力を入れて取り組みました。サークル活動では仲間と一緒に目標に向かって全力で取り組むことの楽しさややりがいを感じました。全国大会という目標は達成できませんでしたが、その過程で学んだものは大きく社会人になっても役立つものであると感じています。

ゼミでは「国際経営学」を学び、世界に視野を向けながら企業の戦略や組織についての新たな知識を身につけました。その中で私は広く世界に影響を及ぼすメーカーの企業で働きたいと思い、現在の企業に就職することを決めました。ゼミでの経験は就職活動にとっても役立つとともに就職後の糧になると思います。

そして忘れてはいけないのは、北大が素晴らしい大学であるということです。キャンパスの自然や多種多様な学生に囲まれて生活しているからこそ、その中で「自分らしさ」を見つけることができると感じています。この経験は今後も大切にしていきます。



中川 知映  
石川県・金沢二水高校

■北陸財務局に就職

私は国家公務員の財務専門官に合格し、北陸財務局に採用されることになりました。経済学部所属ですが、財政に関わるこの職を初めから目指していたわけではなく、本来は地方公務員を考えていました。公務員試験を重ね将来をじっくり考えていく中で、自分自身の視野を広げること、深く考えることが大切だった結果でした。

北大は札幌という都会にありながらも自然豊かで広大な敷地を有しています。そのため、立地の良さから勉強とアルバイト、サークルや就職活動などを並行し充実させることが比較的容易です。私は国際経営のゼミに所属していましたが、そこでプレゼンや研究の経験は楽しみながら学んだ結果として就職活動で大きく役立ちました。北大での生活は自分のやる気次第で様々な可能性を十分に発揮することができる。それは将来大きな財産になると思っています。

- サービス
- 北海道電力
  - 東北電力
  - 中部電力
  - 北陸電力
  - 関西電力
  - 北海道ガス
  - NTT東日本
  - KDDI
  - 日本郵便
  - 日本通運
  - 丸紅
  - 北海道放送
  - 沖縄テレビ放送
  - 電通
  - 新日本監査法人
  - あずさ監査法人
  - 社会保険診療報酬支払基金
  - 都市再生機構
  - ニトリ
  - セイコーマート
  - 北海道大学

- 製造業
- 三菱重工
  - 川崎重工
  - 日揮
  - 清水建設
  - 住友電装
  - 日立製作所
  - NEC
  - 三菱電機
  - 富士通
  - 村田製作所
  - トヨタ自動車
  - 日立造船
  - デンソー
  - 住友電気工業
  - セイコーエプソン
  - キヤノン
  - 東レ
  - グラクソ・スミスクライン
  - 富士フイルム
  - LIXIL
  - 花王
  - 味の素
  - キリンビール

- 公務
- 財務省
  - 国税庁
  - 裁判所
  - 法務省
  - 北海道
  - 札幌市
  - 帯広市
  - 小樽市
  - 仙台市
  - 広島市

- 大学院進学
- 北海道大学大学院経済学研究科
  - 北海道大学会計専門職大学院
  - 北海道大学大学院文学研究科
  - 東京大学大学院経済学研究科
  - 一橋大学大学院経済学研究科
  - 京都大学大学院経済学研究科
  - 神戸大学大学院経営学研究科

- サービス
- 三菱化学
  - 熊谷組
  - 長谷工コーポレーション
  - 東芝
  - 日立製作所
  - 三菱電機
  - 富士通
  - 富士フイルム
  - 村田製作所
  - デンソー
  - 住友電気工業
  - キヤノン
  - 島津製作所
  - 塩野義製薬
  - カネボウ化粧品
  - 日本マクドナルド
  - 日崎グリコ

- 大学院進学
- 北海道大学大学院経済学研究科
  - 北海道大学会計専門職大学院
  - 北海道大学大学院文学研究科
  - 東京大学大学院経済学研究科
  - 一橋大学大学院経済学研究科
  - 京都大学大学院経済学研究科
  - 神戸大学大学院経営学研究科

主な進路

- 平成27年度
- 金融
- 商工中金
  - 日本政策投資銀行
  - 日本政策金融公庫
  - 三井住友銀行
  - りそなグループ
  - みずほフィナンシャルグループ
  - 新生銀行
  - 三井住友信託銀行
  - あおぞら銀行
  - 北洋銀行
  - 北海道銀行
  - 野村証券
  - 大和証券

- 製造業
- 川崎重工
  - 新日鐵住金
  - JFEスチール
  - 住友化学
  - 住友重機械工業
  - 竹中工務店
  - 長谷工コーポレーション
  - 大和ハウス工業
  - 戸田建設
  - 東芝
  - 三菱電機
  - 富士通
  - リコージャパン
  - カシオ計算機
  - 村田製作所
  - トヨタ自動車
  - デンソー
  - 住友電気工業
  - 古河電気工業

- 公務
- 財務省
  - 国税庁
  - 経済産業省
  - 厚生労働省
  - 国土交通省
  - 公安調査庁
  - 東京都
  - 札幌市
  - 函館市



- 平成26年度
- 金融
- 日本銀行
  - 農林中金
  - 日本政策金融公庫
  - 三菱東京UFJ銀行
  - 三井住友銀行
  - りそな銀行
  - みずほフィナンシャルグループ
  - 新生銀行
  - 三井住友信託銀行
  - あおぞら銀行
  - 北洋銀行
  - 北海道銀行
  - 日本生命
  - 野村証券
- 製造業
- 三菱重工
  - 新日鐵住金
  - 日本発条
  - JXエネルギー

- 平成25年度
- 金融
- 農林中金
  - 日本政策金融公庫



佐藤 まろか  
北海道・札幌旭丘高校

■日本郵便に就職

幅広く学べるという理由で総合大学である北海道大学を志望し、1年次では理系の実験科目や外国語、芸術など興味関心を持ったあらゆる分野を楽しむ学び、幸運にも新渡戸賞を受賞しました。2年次以降の専門科目は私にとって難易度の高いものばかりでしたが、知らない世界に踏み込むことで毎日新しいことを発見でき楽しかったです。

ゼミは面白かった講義（先生）で選択した結果、日本経済史のゼミで学ぶことになりました。日本史は中2以来で苦手意識もあり不安でしたが、その時学んだものとは全く異なる日本史に出会うことができ、捉え方が180度変わりました。

大学生活で常に新しいことにチャレンジし、多くの経験を積んだことで、様々な視点から物事を見られるようになり、考え方も以前より豊かになったかと思えます。社会人になっても常にチャレンジ精神で取り組み、より豊かな人間になりたいです。

多方面で活躍する卒業生

経済学部の卒業生たちは、幅広い分野で活躍しています。自動車や家電などの製造業、銀行や保険などの金融業、運輸や流通などのサービス業といった民間企業はもちろんのこと、国家公務員や地方公務員、あるいは、税理士や公認会計士などの会計プロフェッショナル、さらには新聞記者やアナウンサーにいたるまで、あらゆる場面で社会に貢献しているのです。また、海外で活躍する人たちも珍しくはありません。経済や経営、会計などの専門知識ばかりでなく、経済学部で築いた人間関係や、経済学部で過ごした時間が、今日の彼らを支えているのです。そんな卒業生たちから皆さんに宛てたメッセージが届いています。



岡本 藍さん 2007年卒業  
北海道放送 報道記者

テレビ局でのアルバイト、友達との飲み会、車での旅行…

大学時代は終始せわしなく動き回り、笑いまくっていた自分ばかりが思い浮かぶ。特に卒業旅行で、車で本州を縦断したことは大学時代にしかできなかったことだと思ふ。

経済学部の魅力はやはり、自分の裁量による時間が多いこと。とって自由人だ。だからこそ、その時間をど

これから経済学部で学ぶ後輩たちは、どうか貪欲に時間を使い切っ



岩井 尚人さん 1987年卒業  
IPO: Iwai Environmental Planning Office代表

経済学部では、経営学のゼミに所属していました。今ではふつうに使われるようになった「経営戦略」という用語ですが、当時はまだ目新しく、ゼミで読んだマイルズ&スノウの『戦略型経営』という文献が、今でも記憶に残っています。

卒業後、電力会社に就職して様々な業務に携わりましたが、転機となったのは1995年に電力各社共同プロジェクトチームメンバーとして関わった地球温暖化の影響調査でした。これがかきつけで環境問題への関心がにわかに高まり、最終的には20年間勤めた会社を円満退社、環境NGOを設立するに至りました。現在は、環境保全活動についての行政や企業への提案活動や、企業・行政・NPOの環境プロジェクトのアドバイザー・プランニング・マネジメントを仕事にしています。

今振り返ると、自分が大学で身につけたことは、単なる知識ではなく、世の中を正しく認識するための大きな「もの」の見方、捉え方「だった」と思います。経済学部での学びが、自身の人生の可能性を高めるとともに、選択肢を拡げてくれたのではないかと考えています。

う過ぎずのか。自分の意志がとても大事になってくる。

卒業生の進路をとってみても、経済関係の仕事づく人から、私のようなマスコミ関係、メーカー、公務員、福祉の資格を取る人など、その幅は広い。各々が色々なものをみて、経験する自分の時間を持ったからこそで、経済学部生の特長の一つだと思ふ。

私はマーケティングを専攻していた。ゼミの場では常に、モノが売れるメカニズムについて、自分なりの「視点」を持った上で、「論理的」に、「なぜ」を考え、それを誰もが納得できるように「説明」することを徹底的に練習したと思ふ。これはどんな仕事にも通じるものがある。

私の仕事は「報道記者」。事件事故、政治、行政、娯楽、取材の範囲は、生活の範囲、つまり身近なものですべてだ。1秒に何万人という方に情報を届けるこの仕事では、誰にでもわかるように簡潔に説明することが求められる。それと同時にテレビは映像とナレーションがどどんと流れていくため、「なぜ」なのか、「どうしたらいい」のか、伝えたいことの

てほしい。そして、たくさんの「なぜ」をもち、たくさん仲間とそれを話してほ



勝見 由緒恵 久里子さん 2002年卒業  
サントリ

豊かな自然あふれる大地の中で、全国から集まった学生が各々の意志に誇りを持ち、自分の足で自分のスピードで進んでいる。北大にはそんな雰囲気があります。一言でいうと「自然体」。私はそんな雰囲気の中で送る学生生活が大好きでした。

大学から始めたラクロスに熱中し、早朝から練習、経済学部へ直行し授業へ出て、夜はアルバイトか友人と飲み語らうなど、自分の好きなことに思いっきり時間を費やす毎日でした。経済学部は個人の裁量にまかせる部分が多いため、勉強・自分のやりたいことにメリハリをつけて取組めたことは私にとって何よりの環境でした。

3年生から「多国籍企業論」という国際的な企業行動を研究するゼミに入りました。私達が第一期生として始めたゼミで、アットホームな雰囲気と先生の温かいサポートのもと、自由に議論をしながら学びました。現在グローバルに関わる仕事をしていますが、その原点はここだったのかもしれないと感じます。

就職してからは、営業企画、人事、グローバル人事など様々な仕事をしています。社会人になって大切なことは、自分の意志を持ち、自分の足で前へ進むこと。おおらかで、でも意志の強い北大生らしく、今後も地に足をつけて一歩ずつ前進していきたいと思ひます。



視点をぶれずにもたないとい人の心には残らない。どんなことが今、注目されているのか、そしてこれから注目すべきなのかにもいち早くアンテナを張り巡らせる必要がある。

さまざまなものに興味をもち「なぜ」を考えるくせは、ゼミと、大学生活のすべてで培ったといってもいいと思っている。

後悔なくあれだけ忙しく学び、遊んだ経済学部での「自分の時間」が今の自分を創り、卒業から時間が経った今も影響を与えてくれている。

しい。そうして、生涯にわたり、大学生活を財産にしてほしいと思う。



岸川 雄輝さん 2008年卒業  
三菱商事

社会で自分がどのように生きていくかを見極めたくて大学を選んだ。私が大学に対して求めていたものは、キャンパスの内外両方で活動する機会を十分に確保出来るかということだった。その点北大経済学部はコントロール出来る時間が多く、最適だった。

学部では国際経営学のゼミに所属し、座学で日系企業、外資系企業の風土など様々な企業とその経営のあり方について学んだ。また、今でも年に一度北海道に集結するかけがえのない友人達にも出会うことが出来た。別々の道で一生懸命に仕事に邁進し、刺激を与えてくれる友人達の存在は今なお、私にとって大きな財産になっている。キャンパスの外では、バックパッカーとして中国・ベトナムを縦断し、欧州・アフリカ地域を20か国近く放浪した。

キャンパスの内外で数多くの挑戦をし、自分の生き方に対する見極めを行うことが出来た。世界を舞台に色々なバックボーンを持った人々と共にビジネスを創出し、世の中を変えていく仕事が出来たと思ひ、総合商社を志望に選んだ。現在、最高に幸せな社会人生活を送れている。大学生活で得た数多くの学びと総合商社の恵まれたリソースを使って、世の中にインパクトを与える仕事を自分の手で生み出していこうと思う。



山重 明さん 1982年卒業  
ノーザンクロス

私は、経済学部経営学科を卒業後、政府系金融機関や行政改革推進組織のスタッフとして修業を積み、1987年に株式会社ノーザンクロスを創業しました。以来25年間、北海道の都市や地域の豊かなまちづくりに貢献することを目標に、地域の住民や企業や行政と連携して、様々なまちづくり事業や活動を展開しています。

思い起こすと、私が地域社会の経営やマネジメントに関心を抱き、漠然とですが地域の活性化に役立つ仕事をした、そのために将来は自分で組織を立ち上げたい、というイメージをもつようになったのは、経営学科に移行して真野脩先生、故人と出会ったことがきっかけでした。当時の真野ゼミは、民間企業などの実際の課題をどのように分析・判断し、どのような意思決定を行うか、学生たちで徹底的に議論するケースメソッドを盛んに行っていました。そのような経営の現場の息吹が感じられる実践的な学びを通じて、起業への思いが芽生え、育っていききました。

今の経済社会は大きな転換期にあります。そうした変化のダイナミズムを身体で感じ、生きた経済・経営を学び、将来の社会と自身のあり方を見つけるには絶好のチャンスです。



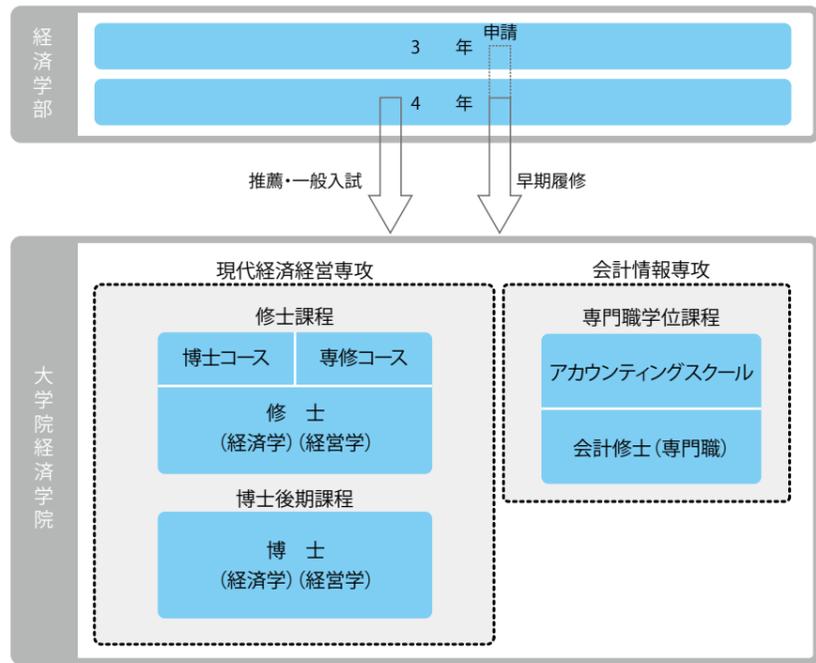
渡辺 栄太郎さん 2010年卒業  
経済産業省

私が働く中で感じた、北大で身につけておいて良かったスキルは、日本全体の大きな目標のために頑張れる精神です。なかなか感謝の言葉を貰える機会のない仕事ですが、理想の国づくりの為に頑張る力が、私を支えています。この精神は先人達から脈々と北大に受け継がれており、北大の大きな財産の一つです。

私が経産官僚として身につけて良かったスキルはもう一つあります。それは基礎的な経済学の考え方です。私は、経済学とは物事をシンプルに説明するためのツールだと感じています。特に、学部で学ぶ基礎的な経済学は、物事を端的に捉えるために非常に有用です。例えば、経産省を初めとして多くの職場では、短時間でシンプルに説明することが強く求められます。その際に、仮定を置き制約下で簡潔な解を導き出すという考え方は非常に役に立っています。是非、後輩のみならずも経済学が社会に出て使える学問であることを噛みしめて、日々の勉強に勤しんで頂きますと幸いです。

群馬県会を頂くのは、キャンパスの環境の良さ、北海道という雄大さという漠然としたものに惹かれ、偶然北海道大学経済学部と出会ったのですが、卒業する頃にはほんとうに北大と出会えて良かったと思っています。皆さんも、貴重な出会いを大切にして1日1日の学生生活を過ごしてください。

学部卒業後の進路は就職だけではありません。ごく少数の学者志望の学生だけが大学院に進学していたのは昔の話です。現在では、エコノミスト、会計士、国際機関のスタッフなど、経済・経営のプロを目指して進学する人も増えています。また、北海道大学大学院経済学院は、経済学と経営学の二種類の学位を授与できる数少ない教育機関です。研究者や高度なプロフェッショナル（高度専門職業人）の育成のため、図のような様々なプログラムを用意しています。



大学院は二年間の修士課程または専門職学位課程と、三年間の博士後期課程の二段階からなっています。修士課程には博士コースと専修コースの二つのコースがあります。専修コースは経済政策コースと経営管理(MBA)コースの二つのコースからなっています。専門職学位課程は、別名アカウンティングスクールと呼ばれ、公認会計士など高度会計職業人を養成します。大学院に進学するには、入試を受ける必要があります。優秀な学生には、推薦制度が用意されています。また、学部四年のうちに、大学院の講義を受講できる「早期履修制度」もあります。

	課程の目的	修了者の進路
修士課程(博士コース) + 博士後期課程	経済・経営分野の深い学識・幅広い視野、そして豊かな創造的能力を有する研究者を育成します	大学教員、研究員、シンクタンク等
修士課程(専修コース) 経済政策コース	経済政策の立案及びその効果を理論的かつ実証的に分析する能力、国際経済協力に必要な専門的知識、あるいは、経済社会の文化と歴史に関する洞察力を有する高度専門職業人を育成します	官公庁や民間のシンクタンク、企業の企画調査部門、国際機関やNGO等
修士課程(専修コース) 経営管理(MBA)コース	事業創造やマネジメントに必要な専門知識・分析能力や、有効かつ高精度な経営意思決定を行うための数理的手法・ITスキルを有する高度専門職業人を育成します	企業・NPOにおける経営管理者やスペシャリスト、シンクタンクの調査・研究専門スタッフ、金融アナリスト等
専門職学位課程	21世紀の経済社会を担うにふさわしい高度な専門性と幅広い視野、そして社会的責任感と高い倫理観を備えた会計専門職を育成します	会社法及び金融商品取引法監査に従事する公認会計士、税理士、企業の会計参与、国税専門官や財務捜査官等



山田 大地(北海道・札幌開成高校卒業) 大学院博士後期課程 経済学

今や文系の大学院進学は特殊なことではなくなりまし。経済学・経営学の大学院を修了し、専門的な知識を身に付けてから就職する院生が増えてきています。国際機関や、民間企業、大学の研究者など、その就職先は様々です。また、より高度な知識を身に付けるため、社会人が大学院に入学することもあります。このことで、社会の実態に触れる機会も増え、講義がより有意義なものとなったと実感しています。

北海道大学大学院経済学院では研究環境が充実しています。フロンティアなテーマで研究をすることに對しても非常に寛容ですし、それをサポートするとても教育熱心なスタッフがいます。私は、北大経済の充実した研究環境と個人的で教育熱心な先生方に惹かれて、この大学院進学を選択しました。今は「労働移民と送金」というフロンティアなテーマで日々発見の研究生活を送っています。大学院進学は、より深く研究したい方には良い選択肢です。講義では知的好奇心を刺激され、研究意欲が高まることと思います。「経済学部で勉強することに興味を持った受験生には、その先に大学院進学という道があることを知ってほしいと思います。」

## 同窓会

かつては、いったん卒業すると大学との関係は疎遠になってしまうのが一般的でした。しかし、今日、大学と卒業生との相互交流は年々密接になっています。



北海道大学経済学部同窓会 上野 昌美会長からのメッセージ

北大経済学部では二つの力が身につきます。第一に、知力。変化の激しい社会で生きていくためには、経済学、経営学、会計学の知識が必須です。全部北大経済学部で学ぶことができます。知識豊富な教授陣から貪欲に学んでください。私は経済のしくみを知りたくて経済学部を志望しました。学部だけでは足りず大学院に進み、現在は会計士の仕事をしています。卒業して40年近くなりますが、一学生が続けることが大切だと感じます。そして、経済学部で学んだこ

とがすべての土台になっています。第二に、ネットワーク力。経済学部の卒業生は8500人以上になり、様々な分野で活躍しています。会計士の仕事でも、先輩・後輩と仕事をすることは多々あります。北大経済学部の卒業生同士だと、初対面でもネットワークの線がすつと結ばれ、信頼の絆が瞬時にできるように感じます。最近の言葉ではソーシャル・キャピタルともいうのでしょ。うか。また、多感な大学時代にはぐくまれた友情は他に代えがたい財産です。日頃連絡を取り合っている友人にはいつも助けられていますし、数十年ぶりに再会した友人は本当に懐かしいものです。



同窓会長賞授与式

経済学部・経済学研究科(学院)の卒業生約11000名を会員として同窓会活動を行っています。活動の主たる目的は、会員相互の親睦と交流を図るとともに、学部・研究科の発展に寄与することです。年に一度同窓会総会・懇親会(東京、札幌にて)を開催し、また同窓会報を発行して会員の近況などを報告しています。さらには毎年卒業時の祝賀会において、優秀な卒業論文を書いた卒業生に同窓会長賞を授与しています。このほかにも記念講演会、経済学部・法学部同窓会員対抗のゴルフコンペなどを行っています。

〒060-0809 札幌市北区北9条西7丁目  
北海道大学経済学部同窓会  
TEL 011-706-4113

## 図書室

図書室は、経済・経営・会計等に関する約1,100種類の学術雑誌の他、新聞・辞書・会計大学院図書等を配架しています。また、30,000種類以上の電子ジャーナルやデータベース(EconLit, eol DB等)も利用できます。



## 情報処理室

情報処理室は、経済学部所属の学生のための共同施設です。現在20台のコンピュータが設置されています。これらを活用した講義・ゼミが行われているだけでなく、学生はインターネット検索、電子メール、レポートや卒業論文などの作成に利用できます。



## 編集

◆北海道大学経済学部 広報誌ワーキンググループ  
編集協力 ●横澤高一、吉井皓太  
写真提供 ●三枝直路、北海道大学生生活協同組合

## ■熊坂さんのとある一週間(1,2年)

	月	火	水	木	金	土	日
7:00	起床		起床	起床		起床	起床
8:45	企業論I	一日授業がないのでゆっくり起床	計量経済学I	ロシアと幻想	起床		散歩もかね1時間歩いてサークルの事務所へ
10:30	経営学I	掃除洗濯	企業論I	財務会計論		スーパーで買い物	
12:00							サークルの会議
13:00	財務会計論	札幌駅で買い物	経営管理I	図書館で新聞check & 授業の課題	経営管理I	掃除洗濯	
14:30	図書館で新聞check		マクロ経済学I		マクロ経済学I		本屋めぐり
16:30	アイヌ語を通して文化を学ぶ			中国語演習			帰宅し晩ご飯づくり
18:00							
19:00	帰宅		サークルの会議	レディースデーで安いので映画館へ!		バイト	
20:00		バイト					録りためていたドラマを見る
21:00	授業の課題			外食	バイト		
22:00			帰宅	帰宅			
23:00							早めに就寝
0:00	就寝	帰宅	就寝	就寝	帰宅	帰宅	
1:00		就寝			就寝	就寝	

## 在学学生 キャンパス ライフ 座談会

### 北海道大学への進学、 経済学部選択の理由

勉強にサークルに、アルバイトにと  
多彩な時間と経験が詰まっている大学生活。  
経済学部の先輩たちはどんな日々を過ごしているのでしょうか。  
充実した大学生活のヒントが見つかる座談会です。

### 自然豊かな憧れの 北大キャンパスで学ぶ!

**吉岡** 北海道へは旅行で何度か訪れたことがあり、北大で勉強することに強い憧れを抱いていました。福岡出身で地元大学への選択もありましたが、勉強にしても、遊びにしても時間を自分で管理できる一人暮らしを経験してみたい。経済学部の選択については、将来目指している金融関係への就職に有利という印象を持っていました。

**熊坂** 本州の学生が北大を目指すというのは、北海道や北大イメージの憧れがとても大きいと思います。親元を離れてはじめての一人暮らしですが、札幌はとても快適なまちです。それに経済学部は、学部のなかでも一番札幌に近い学部でもとても便利

### 全学教科目について

**永井** 経済という分野にしばらく、いろいろな教科を履修できるのがよかったですね。理系文系に関係なく、全学部の学生

なんです。経済学部を選択したのは、毎日の暮らしに密着しているテーマを学びたいと考えたからです。また、いろいろな意見を聞くと、経済学部は就職に強いという評価があり頼もしく感じています。

**志村** 私は札幌出身なのですが、高校生のときにキャンパス見学会に訪れ、やはり広さと環境の良さに魅せられました。都会の真ん中で、こんなに豊かな自然が残され、そこで勉強することができる。北大は、地元大学生からも憧れのキャンパスです。はじめは法学部志望でしたが、見学会や体験入学などを経験するなかで経済学部を志望するようになりました。法律は学んでも制度を変えることはできませんが、経済を学べば自分たちなりに社会の仕組みを変えることもできるのでは、と考えました。

**屋我** 私は沖縄出身なので、寒いところに憧れていました。受験で北大を訪れ初めて雪を見て感動しました。北大のキャンパスは、どの季節も自然を感じながら通学でき、そんなところが素晴らしい。フロンティア精神に溢れるとても贅沢な環境の大学であると実感しています。

### クラス制度について

**屋我** クラスは大学に入って初めて出会う集団。入学当初は知り合いがいなかったのですが、クラスがあったことで仲の良い友人が出来ました。仲間意識を持てる集団で、学祭もクラス単位で参加しました。授業を一緒に受けたら、いろいろ相談する。そういった意味では、学生生活の基盤になっている気がします。

**吉岡** クラスがあったおかげで、す

### 総合大学の深さと強さを実感!

と一緒に学ぶのも刺激的でした。建築と都市、民法など経済とは違う分野も意識して履修しました。生きた会計学を学ぶためには、社会の現象や対象をさまざまな視点から見ることが重要です。そういう意味でも、全学教育科目は社会を見る視野を広げてくれました。

**熊坂** フレッシュマンセミナー「国際交流を実践する」という科目を履修し、授業の一環として、夏に日高で開催されている「樹魂まつり」に参加しました。これは、北大留学生センターが日高青少年自然の家と共催しているプログラムで、全学の留学生を対象におこなっているものです。北大にきている各国の学生と交流する機会が持てて、多様な価値観に触れることができました。

ぐにみんなと打ち解けました。テスト前など、情報共有ができて、勉強を教えあったり。一緒に授業を受ける友達がいることは、すごく心強いですね。

### 資格取得について

**志村** 私はTOEICを受けました。経済学部では、TOEICに挑戦する学生に対して補助が出る制度もあります。また、私の周辺では、会計学の基本ともなるので簿記の資格を取得する学生が多いですね。資格取得が目標ではありませんが、将来の夢や目標に向けて、取り組んでいる感じですね。

### サークル活動について

**吉岡** 中学校・高校と野球部に所属していたので、大学でも野球をやりたい。現在、軟式野球のサークルに所属し、週末に試合をするなど、楽しくのびのび



**永井 椋** Ryo Nagai  
経営学科 吉見ゼミ所属 4年  
北海道・札幌西高校卒業  
3年時に生協幹事を経験。社会保険関係の基金団体に就職決定。



**屋我 龍輝** Roki Yaga  
経済学科 高木ゼミ所属 3年  
沖縄県・那覇国際高校卒業  
ポートランド州立大学(アメリカ)への約1年間に及ぶ留学経験あり。



**志村 伊織里** Iori Shimura  
経営学科 篠田ゼミ所属 3年  
北海道・藤女子高校卒業  
北大での学生生活は、高校時のキャンパス見学以来の憧れ。現在、精力的に就活中。



**菅原 大樹** Daiki Sugawara  
経営学科 宇田ゼミ所属 3年  
北海道・札幌西高校卒業  
趣味として、ピアティストアの資格取得を目指す。マスコミ関係への就職を希望。



**熊坂 ちひろ** Chihiro Kumasaka  
経済学科 阿部ゼミ所属予定 2年  
山形県・県立鶴岡南高校卒業  
さまざまな大学の学生が所属するYOSAKOIソーラン祭り学生実行委員会でも活躍。



**吉岡 颯人** Hayato Yoshioka  
経済学科 樋渡ゼミ所属予定 2年  
福岡県・西南学院高校卒業  
軟式野球サークル(パラゴンズ)所属。将来は金融関係への就職を目指す。

## サークル活動は、学生生活の幅を広げてくれる。



と野球をしています。試合へのプレッシャーなども感じず、

すごく新鮮な体験ですね。あとは友達との輪が広がったこと。サークルに入ってからよかったと思っています。

熊坂 YOSAKOIソーラン祭りの大会運営をする裏方側のサークルに、1年の時から加入しています。活動の内容は6月に開催されるYOSAKOIの運営をお手伝いすることです。また、全国のYOSAKOI関係の祭りに応援に行ったり、さつぽろ雪まつりにもボランティアとして参加するなど、幅広く活動しています。いろいろな人と出会えたり、さまざまな体験ができてとても充実しています。

### アルバイトについて

永井 経済学部は授業単位に縛りが少なく、私は必要な単位を3年次までにほとんど履修することができたので、4年次に百貨店のレジ打ちのアルバイトを各売場でやりました。失敗をしたら、数字が合わないケースもありますが、会社の内部統制や責任の所在など、経済学や経営学で学んだような事象を直に体験することができ、アルバイトはとても有意義でした。

志村 1年次から約2年間、塾の講師をやりました。講師たちみんなで話し合っって打開策を考え

て指導し、その結果ほとんど全員を合格させることができたということがあります。アルバイトとはいえとても達成感のある体験でした。

### 就職活動について

永井 学部で会計に関する興味・関心を育ててくれたので、ゼミその知識を生かせる職に就きたかったです。会計監査関係の分野に就職でき、その目的は達せられました。私は以前、就職といえばスキルや資格を持っていることが有利という先入観がありました。就職活動を通して実感したことは、必要とされているのは現実を見る力や考える力について。人に物事を伝えるコミュニケーション能力やプレゼンテーション力が、大きく試されるのだと実感しました。そういった意味でも普段からそうした学びが多い経済学部が就職に有利だと思います。

菅原 現在、就活をスタートした時期です。第一志望はマスコミで、テレビ局でバイトもしています。毎日、自分の知らないさまざまな場所、いろいろなことが起こっています。それが映像や情報で知らされ、社会が大きく動くこともある。自分もそんな情報に影響を受け、いろいろな行動するきっかけにもなりました。それを今度は自分が情報をとり、実際に見たこと感じたことを幅広くみんなに発信し社会

## 学んだ知識を就職に活かす。

に対して何かしらのプラスになるようなことができればいいと思っています。

志村 私は金融関係への就職を目指し就職中です。管理会計のゼミを取っていますが、自分の好きな業種をはじめ、さまざまな業界を研究・分析してきました。経済は数字で動いているような気がしますが、それを動かしているのは人間。人を資本として、人との信頼関係から成り立っている金融という分野に興味があります。

### ゼミについて

菅原 うちのゼミで特徴的なのは、同期のゼミ生全員で取り組むグループワークです。これは、グループでひとつテーマを決めて、調査・研究を行うもの。われわれは、大学生の規範意識をテーマにしました。これについては先行研究や前例がなく、アンケートを作成し、道内・外の大学生に配布しました。回収したアンケートを統計学等の知識を元に分析し、傾向や結論を導く作業です。この1年間、みんなで分担し合っってそれに取り組みました。また、他大学と共同で行う合同ゼミな

## 多様性のある経済学部のゼミ。

どもあり、発表会などプレゼンテーションする機会がとて多くいろいろな勉強になります。飲みにいたり、キャンプや旅行へ行くなど、仲がいいですね。

志村 私のゼミでは、知識を頭で学ぶだけでなく、実際に実行してみることに重きを置いています。会計のゼミですが、実際に経営をやってみようということ、学校祭に出店を計画しました。勉強会や話し合いを重ね、ゼミのOBに呼びかけて総会となる説明会を開催。事業計画を説明し、この事業への出資を募りました。パンケーキ作りなど、メニューの試作をしたり、さまざまな準備を経て開店しました。事業は黒字となり出資者に対しては配当金を払うことができました。実際の活動の中で、多様な生きた知識を体験できました。

永井 経済学部のゼミは、いろいろなテーマやタイプがありとても多様性があります。所属するゼミを決めるまで、わりと期間があるので、それぞれの内容や特徴をよく理解して選ぶことができます。利害関係のない友人関係が築ける最後のチャンス。自分に合ったゼミを選ぶことができるのも、経済学部ならではの醍醐味です。

在学生  
キャンパス  
ライブ  
座談会



### 広く世界を体験したい! 〈私の留学体験〉 屋我 龍輝

高校時代、アメリカでのホームステイ体験で、広い視野を持つことの大切さを痛感。大学進学後、絶対に留学をしたいと早くから計画していました。国際ビジネスをアメリカで学びたいと考え、ポートランド州立大学を選択。語学力など入学に必要な条件をクリアし、大学3年時に約10カ月間の留学を経験してきました。

分業では特に統計学が好きで、高度な数学を使って行う統計学の授業はとても難しかったのですが、ますます興味が深まりました。先生と学生間は、友だちのようにとっても気さくな雰囲気。ただ、受講する姿勢がとても真剣で、学生たちの勉強に対する意識の高さを実感しました。卒業後も、国際的な活動が出来る仕事に就きたいと考えています。



### 菅原君のとある一週間(3,4年)

月	火	水	木	金	土	日
3:00 起床			起床	起床		
4:00 テレビ局バイト			テレビ局バイト	テレビ局バイト		
8:00	起床					
8:45 財政学	社会経済学I	起床	経営学II			
10:30 計量経済学I	図書館で勉強	財政学	労働経済学	企業説明会	起床	起床
12:00 友人と昼食	友人と食堂で昼食		友人と昼食			
13:00 労働経済学	経営学II	家で昼食				
14:30		国際経済学				
15:00 帰宅・仮眠	企業研究セミナー		ゼミのグループワーク		家でゆっくり過ごすDVD鑑賞	たまには部屋の掃除
16:30		TOEICの勉強				
18:00						
18:30						
19:00 就活セミナー						晩ご飯
20:00	アルバイト	アルバイト	友人と飲み会			
21:00					アルバイト	
22:00 飲み会	帰宅	帰宅	帰宅	その後飲み会		翌朝早いため、就寝
23:00	日経新聞をチェック					
0:00 帰宅		ゼミの予習	就寝	帰宅	帰宅	
0:30 就寝	就寝					
1:30		就寝		就寝	就寝	



●雪中ラグビー  
北海道ならではの行事です。寒さを忘れてがむしゃらにボールを追いかける。雪の上だからタックルしても痛くないし本当に楽しいですよ。ぜひ挑戦してくださいね。



●北大祭  
一年のうちで、キャンパスが最も活気にあふれる時が北大祭！北大から札幌市中心部まで仮装行列をしたり、いろいろな模擬店を構内にとろせましと立ち並べたり…。最後はみんなで肩を組み「都ぞ弥生」という北大伝統の賽歌を歌って祭りを締めくくります。



北大は毎月行事がいっぱいです。特に入学直後は、楽しいイベントが盛りだくさん。これらの活動を通して、自然と仲の良い友だちができるのです。学部や学年、さらには大学や地域の枠を越えていろいろな人と同じ時間を過ごすことができるのは、学生時代ならではの貴重な体験。経済学部でも、ジンパやゼミ合宿など、先生や仲間たちと楽しい時間を過ごせます。



▼さっぽろ雪まつり  
●二学期試験  
●春休み  
●受験生歓迎  
●前期入学試験



●音楽系サークル定期演奏会  
●冬休み



●留学生ウェルカムパーティー  
●二学期授業開始  
●恵迪寮祭  
●北大駅伝  
●プレゼン大会



●成績優秀者表彰



●ゼミ合宿  
●夏休み



●北大祭  
▼YOSAKOIソーラン祭り



●入学式前夜祭(一年)  
●入学式(一年)  
●一学期授業開始  
●クラスマッチ(二年)  
●ゼミスタート(三年)



3月  
●後期入学試験  
●卒業式(四年)

2月  
●二学期授業終了

12月  
●センター試験  
●雪中ラグビー大会

11月  
●ゼミ決定(二年)  
▼ホワイトイルミネーション

10月  
●一学期授業終了  
●国立七大学総合体育大会  
▼北海道マラソン  
●フレッシュマン・セミナー(33)

9月  
●秋の札幌六大学野球  
●サッカー大会

8月  
●一学期授業終了  
●国立七大学総合体育大会  
▼北海道マラソン  
●フレッシュマン・セミナー(33)

7月  
●ジンパ  
▼豊平川花火大会  
●クラーク博士の誕生日

6月  
●春の札幌六大学野球  
●寮歌祭

5月  
●入学式前夜祭



●ゼミ決定  
大学生活、さらにはその後の人生まで決めてしまおうかもしれない(?)ゼミ選び。自分が研究したいテーマや卒業後の進路なども考えながら、資料を見たり、ゼミ見学にいたり、先生の研究室を訪ねたりして慎重に選びましょう。



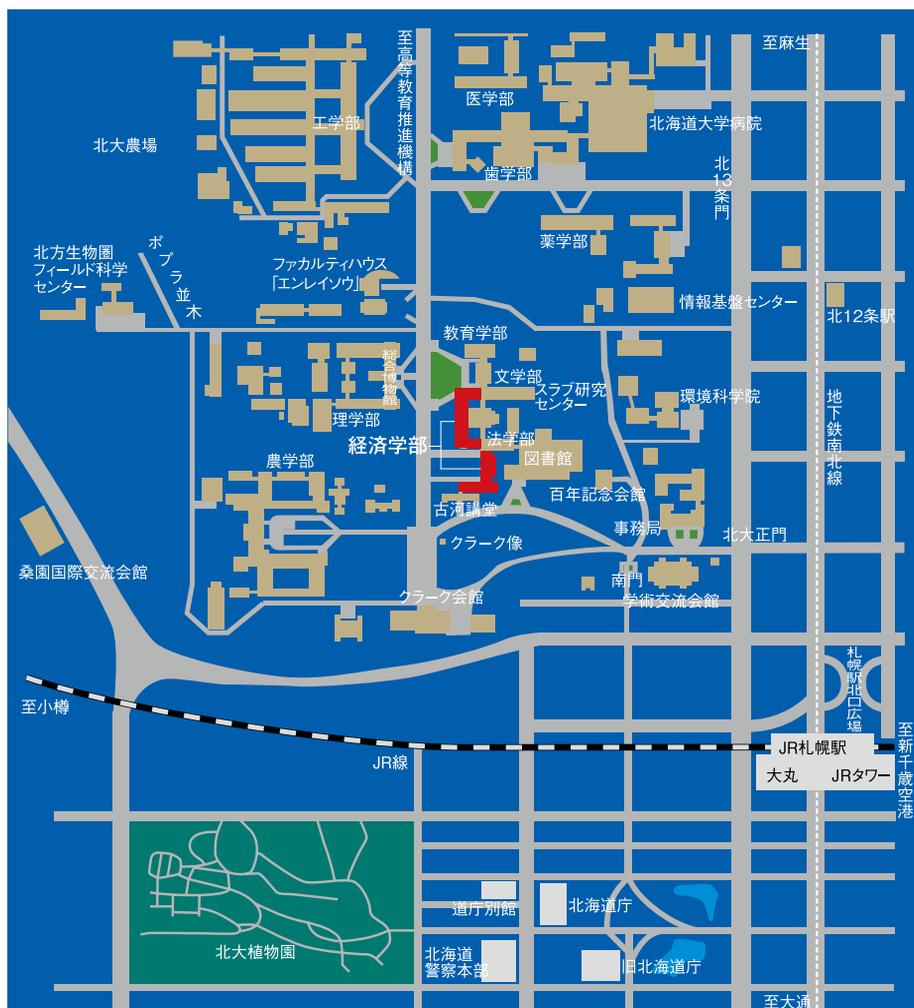
●ジンパ  
ジンパとは「ジギスカン・パーティー」の略。クラスやゼミ、サークルの仲間と七輪を囲んで将来の夢を語り合いながらジギスカン・ラム肉や野菜を炭火で焼いて、独特のタレで食べる北海道の名物料理を食べる会のことです。学生のみならず先生も喜んで参加します。



●クラスマッチ  
1年生がクラス対抗で行う運動会です。各クラス手作りのTシャツを着て、玉入れや綱引きなどをしながら優勝を争います。クラス一丸となって競技や応援をして、クラスメートとの仲も一段と深まる大切なイベントです。



●入学式前夜祭  
大学生活の一番はじめにして、年間を通しても屈指の大きさのイベント。それが前夜祭！全学部2000人の新入生が一堂に集まり、先輩たちのオーケストラやYOSAKOIなど歓迎のステージを聴いて、観て、そして自分たちも参加して楽しむ！何に参加するかは行ってみてのお楽しみ。いま言えるのは、開演時には話せなかった隣の同じクラスの人と、終わるまでには何でも話せる仲になっていることだ。入学式前日から新たな仲間たちと仲良くなり、ここから四年間の大学生活がスタートする。



## 北海道大学 経済学部

〒060-0809 札幌市北区北9条西7丁目

TEL 011-706-4058

URL: <https://www.econ.hokudai.ac.jp>

e-mail: [keizai-s@econ.hokudai.ac.jp](mailto:keizai-s@econ.hokudai.ac.jp)

